

# 事業概要 【誘客促進強化学業（アプリ機能強化）】

実施地域	北海道	事業費	48,000千円	
実施主体	(公社) 北海道観光振興機構	人口	5,145,080人	
事業概要	2022年度に道外の方々が北海道に旅行したい気持ちになる観光アプリを開発し、2023年度は、アプリ内にデータ分析機能の実装や機構公式LINEと連携するとともに、道内観光施設や飲食店等のクーポン機能を搭載することにより、習慣的な利用を促す。また、分析機能を活用し、道内の周遊を促すため属性別の情報発信を行うことにより、観光する時期、場所の分散化につなげ、オーバーツーリズムの解消と消費の拡大の両立に取り組む。			
具体サービス	<p>1 取組概要（拡張）</p> <p>①データ分析等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア別ヒートマップ及び情報発信</li> <li>・エリア別、時間別、属性別来訪者数</li> <li>・前後の来訪地 ・人気の周遊ルートの移動履歴</li> </ul> <p>※データの抽出から分析まで手動から自動化へ機能拡張</p> <p>②SNSとの連携(機構公式LINE会員20万人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道観光振興機構が運営している SNSと連携し、分析結果をもとに情報発信</li> </ul> <p>2 取組効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ分析に基づき、ユーザーの嗜好に合わせたモデルコースの提案やクーポンなどの情報発信により、利用者は「旅マエ」「旅ナカ」「旅アト」各々のシーンで道内観光の鮮度の高い情報を入手し、お得な旅行ができるほか、周遊と消費を促すことで、旅行者の意識変化とともに地域や季節の偏在の解消につなげる。</li> </ul>	<p><b>観光アプリイメージ図</b></p> <p><b>観光アプリイメージ図</b></p> <p>個人情報</p> <p>アプリ</p> <p>LINE</p> <p>行動履歴</p> <p>世代</p> <p>居住地</p> <p>来道回数</p> <p>興味エリア</p> <p><b>観光アプリと機構LINE</b></p> <p>HOKKAIDO LOVE! 観光アプリ、機構LINEともに「キュンちゃん」と「HOKKAIDO LOVE!」を全面に出して展開</p> <p>機構アプリ (仮称: キュンちゃんとお出かけ北海道!)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ゲーム機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・道内の観光地を巡って移動に応じてポイントを獲得</li> <li>・道外でも移動に応じてポイントが貯まる</li> <li>・どんこプラザに行ったらポイントが貯まる</li> <li>・集めたポイントをプレゼントやお買い物券に交換(マイルや電子マネーにも交換可能)</li> </ul> </li> <li>●情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の行動に応じた情報をプッシュ型で発信</li> <li>・随時発信(利用者の訪問場所等による)</li> <li>・定期発信も実施(属性別に4回/月)</li> <li>・#hokkaidolove Instagram、口コミ情報</li> <li>・情報提供元の店舗・施設情報</li> <li>・連携先からの企業情報</li> </ul> </li> <li>●各種機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行の行程を記録できる</li> <li>・既存の外観サイト等と連携することで充実した情報を提供</li> </ul> </li> </ul> <p>機構LINE</p> <p>LINEアカウントとの連携(ソーシャルログイン)</p> <p>既存の事業で実施している普段の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全道の観光情報を定期的に発信(月8回)</li> <li>(共通4回、属性別4回)</li> </ul> </li> </ul> <p>#hokkaidolove等の個人からの情報</p> <p>Instagram</p> <p>地図や経路検索</p> <p>Google Maps</p> <p>宿泊予約</p> <p>333</p> <p>レストラン予約</p> <p>食ペログ</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①アプリダウンロード数</p> <p>②機構LINE登録者数</p> <p>③アクティブユーザー数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①利用者満足度</p> <p>②観光消費額単価（道外客）</p> <p>③観光消費額単価（道内客）</p>		

# 事業概要 【デジタル情報配信基盤を活用した観光周遊促進等による地域活性化事業】

実施地域	北海道岩見沢市	事業費	37,968千円
実施主体	北海道岩見沢市	人口	76,760人（R4.12月末）
事業概要	<p>市内の観光施設や主要な公共施設等に、情報配信や広告表示など訴求力が高く視認性の良いデジタルサイネージを設置し、観光案内や飲食店情報、市民啓発等の各種情報をリアルタイムで配信・取得する仕組みを構築することで、人の流れを呼び込み、新たな賑わいと活気にあふれる街づくりや観光周遊を促進し、稼ぐ力の地力を付けるとともに、デジタル情報配信基盤関連のネットワークを活用した地域活性化事業を展開する。</p>		
具体サービス	<p><b>【インタラクティブ型デジタルサイネージによる情報配信】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>BLE×スマートフォン×インタラクティブ型デジタルサイネージ連動による多様な情報配信で観光周遊を促進</li> <li>コンテンツは無線LANのネットワークを介して、遠隔更新（鮮度ある情報を観光客・住民に対して即時配信、スタンドアロン運用からの脱却及び効率化）</li> <li>インターネット接続時の広告表示（観光情報等）</li> <li>Open Roaming機能実装（インバウンド対応）</li> <li>ログの収集による観光客の周遊行動分析、EBPMの推進</li> </ul> <p><b>【ライブカメラ映像の配信】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光スポット（バラ園、色彩館等）にライブカメラを設置し、花木の季節毎の開花の様子などをリアルタイムで配信することによる観光周遊の動機付け</li> </ul> <p><b>【災害用統一SSID「00000JAPAN」の提供】</b></p> <p><b>【観光施設・公共施設等のスマート化による地域活性化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルサイネージのネットワークとして構築した無線LAN環境の利用によるデジタルリテラシー講習会の開催</li> </ul>		
主なKPI	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①観光入込客数（イベント除く）</li> <li>②岩見沢市観光協会における特産品販売額及び着地型旅行商品の販売額</li> <li>③高齢者等に対する市民向けスマホ教室の参加者数</li> </ol>	<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①デジタルサイネージの利用者満足度</li> <li>②無線LANが整備されている公共施設の貸室利用者数</li> <li>③無線LANの利用者満足度</li> <li>④ライブカメラ映像の視聴回数</li> </ol>	

# 事業概要 【ピヤシリスキー場 スマートゲート導入】

実施地域	北海道名寄市字日進	事業費	38,828千円
実施主体	北海道名寄市 (株)名寄振興公社	人口	26,000人 (2023.1月末)
事業概要	<p>スキー場の利用者の減少、新型コロナウイルス感染症拡大によるインバウンドの消滅と感染対策、本市観光入込客数の減少により観光消費額が減少していることから、スマートゲートを導入し、来場者の利便性向上と来場者データによる顧客満足度の向上、スマートゲート導入スキー場との広域連携サービスの展開によりスキー場の利用促進に繋げ域外からの来場者数増加を図り、市内観光消費額の増加による地域経済の活性化を目指す。</p>		
具体サービス	<p>【スマートゲートサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・web販売システム</li> <li>・自動発券システム</li> <li>・自動改札システム</li> </ul> <p>→スマートゲート導入スキー場と共通ICリフト券の発行やスキー場利用者のデータを分析し、顧客満足度の向上や効果的な情報発信、スマートゲート導入スキー場との広域連携サービス等の提供に繋げ、スキー場の利用促進による域外からの来場者数増加を図り、市内観光消費額の増加による地域経済の活性化を目指す。</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標 (活動指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①リフト輸送人数</li> <li>②Web販売利用者数</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標 (成果指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①リフト利用者由来の市内観光消費額</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>	

# 事業概要 【クラウド型デジタルサイネージによる施設利用者への多様な情報提供】

実施地域	北海道東神楽町	事業費	20,607千円
実施主体	北海道東神楽町	人口	10,110人
事業概要	<p>現在、本町における情報発信は、広報誌、防災無線、ホームページ、SNSが主な手段となっています。しかし、これらの手段は全ての人を対象としているため、情報量が多く、「必要な人に必要な情報」が届き難いのが現状です。本事業は、「デジタルサイネージシステム」を導入することにより、多様な配信方法が可能となり、町民のニーズや目的に沿った情報を届ける仕組みが構築されることで情報伝達率の向上が図られます。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>①「多言語対応・読み上げなど多様なニーズへの対応」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多言語（日本語、英語、中国語、台湾語、韓国語）に対応し、インバウンド需要にも応えます。</li> <li>デジタルデバイス対策として、音声読上機能（音声合成ナレーション機能（VNSS）を活用して音声対話も可能とします。</li> <li>将来的にサイネージを通して遠隔行政相談サービス等へ対応します。</li> </ul> <p>②「場所に応じて別々のコンテンツを配信サービス」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サイネージごとに配信するコンテンツを分ける機能を活用し、その場所に適した情報を配信します。（福祉・産業振興・観光・防災など）</li> <li>飛行機の発着情報や災害情報等をリアルタイムに情報を配信します。</li> </ul> <p>③「企業広告配信サービス」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の企業、お店の広告を配信し、地域経済の底上げに寄与します。</li> </ul> <p>④「災害情報の配信」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害拠点となる複合施設内に大型サイネージ等を活用し、Lアラートや防災メール機能と自動連携させ緊急同報配信を行います。</li> </ul>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①多言語に対応したコンテンツ数</li> <li>②動画コンテンツ数</li> <li>③有料広告の配信企業数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①デジタルサイネージシステムの利用満足度</li> <li>②配信コンテンツを活用した「健幸ポイント」取得者数</li> </ol>	




## 事業概要 【LINE活用型デジタル観光パスポート事業】

実施地域	秋田市、男鹿市、潟上市	事業費	11,000千円
実施主体	秋田市、男鹿市、潟上市	人口	357,490 ※3市合計
事業概要	LINEを活用した観光情報提供／周遊・消費促進アプリ「デジタル観光パスポート」を導入し、デジタルマーケティングを推進することで、利用者の域内周遊を支援、そして消費促進の加速、関係人口の蓄積を目指す。また、利用者データに基づいたデジタル上のプロモーションが可能な環境を構築、観光領域のデジタル活用を推進する。		
具体サービス	<p>【ユーザー向けアプリ「デジタル観光パスポート」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>LINEのメニュー機能から複数の地域サービスを利用可能。(例)観光情報閲覧、地域クーポン利用、ECサイト利用、ふるさと納税、県の観光サイト「アキタファン」との相互送客、インバウンド対応（多言語化）等</li> </ul> <p>【保守運用支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザー向けアプリの利用者データの可視化、アンケートの実施、コンテンツ管理、メッセージ配信を保守・運用にて支援。</li> </ul>	<p>【デジタル観光パスポートイメージ】</p> <p>※画面イメージは別の地域のものを活用</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>①観光情報・ナビゲーション ✓ 観光スポットやコース配信・ナビゲーションを実施</li> <li>②クーポン配信情報 ✓ 地域のお得なクーポン情報を提供</li> <li>③物産EC・ふるさと納税 ✓ 物産ECサイトやふるさと納税サイトを紹介</li> <li>④アンケート ✓ 利用者に回答を促すアンケート機能を実装</li> <li>⑤その他機能 ✓ 別のリイトへのリンクメニュー等をオプション実装 ✓ 秋田広域連携では秋田ファンとの連携を実施</li> </ul>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①累計LINE友だち登録者数</li> <li>②複数地域コンテンツへのアクセス率</li> <li>③地域クーポン利用回数</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①サービスを通じた観光消費額</li> <li>②観光地点等入込客数</li> <li>③サービス全体の満足度</li> </ul>	

## 事業概要 【観光デジタルマップ整備事業】

実施地域	山形県天童市	事業費	3,828千円
実施主体	山形県天童市	人口	61,092人
事業概要	<p>本市における観光情報発信は、紙媒体のチラシやパンフレットが中心となっており、近年増加傾向にあるスマートフォンやタブレットで検索・閲覧する方々には十分に対応できていないことが課題となっている。そのため、電子地図上に名所旧跡や催事の情報を掲載することにより本市の観光情報の認知度向上を図るとともに、検索から誘導案内へ直結させることにより、利便性の向上を図る。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【デジタルマップサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 名所旧跡や催事などの情報を「体験」「お祭り」など部門毎に分けて地図上に表す。</li> <li>• 利用者は部門毎に閲覧することができ、地図上が煩雑になることを避けることができる。</li> <li>• 現在地から当該箇所まで、道順を案内。</li> </ul>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①アクセス数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①利用者の満足度（アンケートによる調査）</p>	

## 事業概要 【ARダテニクル】

実施地域	福島県伊達市	事業費	2,650千円
実施主体	福島県伊達市	人口	56,334人
事業概要	市内回遊性向上を図ることを目的として、伊達市観光PRアニメ「政宗ダテニクル」の聖地を訪れた際にキャラクター等と写真撮影ができるように利用者の多いiPhone端末用のARアプリとQRコードパネルを設置し、アニメファンや若い世代を中心とした誘客促進につなげるもの。		
具体サービス	<p>【ARダテニクル アプリサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開発 2,633千円</li> <li>維持費 17千円</li> </ul>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①アプリダウンロード数</li> <li>②ダテニクルSNS発信数</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①アプリ利用満足度</li> <li>②観光入込客数</li> <li>③</li> </ol>	

## 事業概要 【観光事業】

実施地域	福島県三春町内	事業費	20,000千円
実施主体	福島県三春町	人口	16,662人
事業概要	<p>三春ダムVRにより三春ダムの歩んできた歴史をアーカイブ化し視覚的・感覚的に体験できるようにすることで観光客の誘致や地元住民の郷土愛を醸成し、町の活性化を図る。 将来的にはメタバースなどのデジタル空間でもVR素材を活用して更なる交流人口の獲得を図る。</p>		
具体サービス	<p><b>【三春ダム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・VRの動画を作成し、YouTube等の媒体で周知する。</li> <li>・観光客数の増加と地元の人々の故郷愛の醸成。</li> <li>・既存の観光資源の磨き上げ。</li> <li>・街なかや、三春ダム周辺の観光資源（滝ザクラ、観光に特化した公共施設等）も絡めたPRにより来場者を増やし、町内の活性化を図る</li> </ul>	 <p>※凸版印刷HPから引用 VR技術を活用してダムに沈んだ町を眺めることができる</p>	
主なKPI	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①SNS等の閲覧・アクセス数</li> <li>②三春ダムVR体験者数</li> </ol>	<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①三春ダムVRの満足度</li> </ol>	




# 事業概要 【大洗町ふるさとビジョン(仮)設置事業】

実施地域	茨城県東茨城郡大洗町	事業費	20,617千円
実施主体	大洗町	人口	15,974人 R4年12月1日時点
事業概要	<p>大洗町において、必要性の増す行政及び観光情報等の発信機会の増大に対する解決策として、令和4年度にデジタルサイネージを設置。これにより視覚的な情報発信ツールとして行政及び観光情報の周知に寄与しているところ。本事業により2台目を設置することで、1台でカバーできていないエリアの住民及び観光客への訴求により、町全域の住民が必要な情報を平等に得られる環境の整備と観光客数の増加を図る。</p>		
具体サービス	<p>～大洗町ふるさとビジョンの概要～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○放送時間 7時から21時（14時間）</li> <li>○広告枠 15秒動画×2枠 または30秒動画×1枠</li> <li>○放映パターン 町政情報と広告を繰り返し放映</li> <li>○広告料金 1 契約当たり月額3万円 ※町内に本社がある場合は1万5千円</li> <li>○運営体制 大洗町秘書広報課が、広告の窓口及び放映システムの管理を担い事業を運営する。 また、おもてなし推進協議会の観光コンシェルジュが、希望する企業からの動画作成委託を請負う。</li> </ul>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①行政情報放映時間</li> <li>②観光情報放映時間</li> <li>③広告掲載企業数</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①広告掲載企業満足度</li> <li>②年間入込観光客数</li> </ul>	

# 事業概要 【メタバースを活用した観光デジタルコンテンツ整備事業】

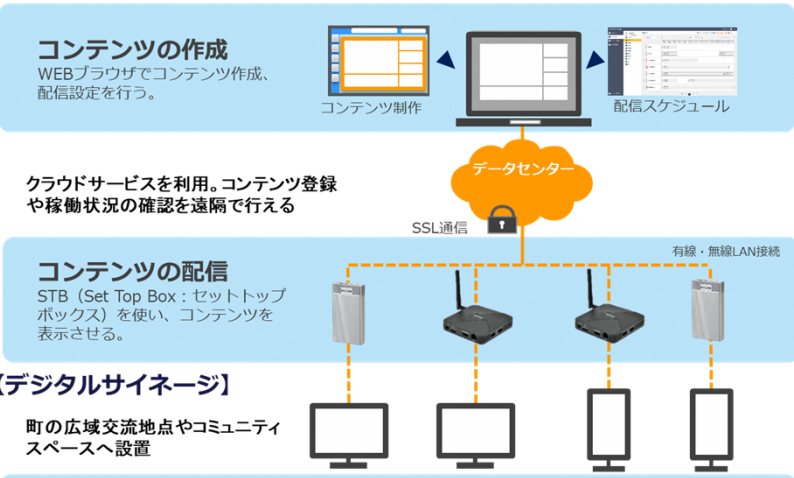
実施地域	栃木県日光市	事業費	10,000千円
実施主体	栃木県日光市	人口	77,546人（2023年1月時点）
事業概要	<p>日光市に教育旅行で来訪を予定している児童・生徒をターゲットとし、バーチャル空間においてモデルコース等を設定し、首都圏の学校や旅行代理店へのPRを行い、事前学習を行っていただく。また、遠隔アバターにより、日光市の観光の説明など、双方向でのリアルタイムなコミュニケーションを行うことで優位性を高め、日光市を目的地とした教育旅行の拡大を図る。</p>		
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>①複数日程での周遊コースを想起させるコンテンツおよびご案内を充実させ、宿泊率の向上に寄与する</p> <p>②外部企業コンテンツ等との連携などメタバースの特徴を活かしたコンテンツを掲載し、日光市の魅力を高める</p> <p>③季節による繁閑差が大きいことから、特に冬期の魅力を高めるコンテンツ（スキー場、温泉、等）を充実させ、冬季の来訪数を増やす</p> <p>④児童・生徒をターゲットとし、メタバース空間において、日光市の映像等を配置し、事前学習を行っていただく</p> <p>⑤遠隔アバターにより、双方向でのリアルタイムなコミュニケーションを行うことで優位性を高め、日光市を目的地とした教育旅行の拡大を図る</p> <p>※ メタバース上でのPR（モデルコース等） ⇒ 首都圏教育委員会・旅行代理店へのPR ⇒ 事前学習の導入 ⇒ 誘致の達成</p> </div> <div style="flex: 2;"> <p>メタバース及び市のHPでのPR</p> <p>教育委員会・学校へのPR</p> <p>旅行代理店へのPR</p> <p>日光市の歴史や自然遺産を巡るコースを調査しよう！</p> <p>バーチャル日光</p> <p>児童・生徒のアバター</p> <p>現地ガイドさんが操作するアバター</p> <p>ガイドさんありがとう こんな魅力的な場所なんだね！</p> <p>私達のグループはこんなコースで回れたら勉強になりそうだね！</p> <p>日光市観光協会 東武鉄道 カーシェア シェアサイクル グリーンローモビリティ</p> <p>おすすめ周遊コース（2泊3日コース） 日光市・川治</p> <p>各地域の映像コンテンツなど</p> </div> </div>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①市特設ウェブサイト閲覧回数</p> <p>②バーチャル空間での事前学習アンケート回収数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①バーチャル空間でのアンケート調査による満足度</p> <p>②観光客宿泊数</p>

# 事業概要 【町内全域観光地づくり！QRガイドマップ導入事業】

実施地域	埼玉県長瀬町全域	事業費	3,695千円
実施主体	埼玉県長瀬町	人口	6,656人
事業概要	観光客の周遊や消費等を促進するため、観光看板・観光パンフレットをデジタル化し、QRコードから簡単にアクセスできる観光マップを導入する。また、町内全域を対象とすることで主要な観光エリア以外での観光を促進する。		
具体サービス	<p>長瀬町QRガイドマップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・QRコードを読み取ることで簡単にアクセス可</li> <li>・町内の主要な観光スポットを地図上に表示</li> <li>・端末の位置情報と連動し現在地を表示</li> <li>・観光・史跡巡り等テーマに沿ったウォーキングコースを表示し、新しい観光プランを提案</li> <li>・スポットの詳細画面から関連情報を取得（インバウンド対策として多言語対応）</li> <li>・フォトギャラリーから穴場スポットを視覚的にPR</li> </ul>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①QRガイドマップの閲覧数</li> <li>②観光協会ホームページの閲覧数</li> <li>③各種SNSにおける関連ハッシュタグの投稿数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①観光客の満足度向上</li> <li>②観光入込客数の増加</li> </ol>	




# 事業概要 【デジタルサイネージによる地域情報発信力の強化】

実施地域	埼玉県上里町	事業費	1,493千円
実施主体	埼玉県上里町、JA埼玉ひびきの農業協同組合 他	人口	30,554人
事業概要	<p>暮らしに便利・大切な情報を掲示・発信するデジタルサイネージを、役場庁舎等の公共空間に配置し、町のイベント情報をはじめ感染症対策の呼びかけ、災害発生・公共交通の遅延などの緊急情報をリアルタイムで発信する。情報発信チャンネルの拡大を図るとともに、これまで即時的情報が届きづらかったデジタル未利用者にも、情報発信の充実を図る。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p><b>【デジタルサイネージ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大型液晶デジタルサイネージ（SIM入り）を、人々が集うコミュニティスペース（役場・町民ホール）や町の広域交流拠点である関越自動車道上里SA周辺地区（このはなパーク上里内、JAが運営するアグリパーク上里内を想定）の来訪者の目につきやすい場所に設置。多様な地域情報を発信。将来的には、駅、地域の民間商業施設等への設置拡大を検討。</li> </ul> <p><b>【クラウド型コンテンツ管理システム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サイネージに掲示するコンテンツを遠隔管理できるクラウド型コンテンツ管理システムを併せて整備し、デバイス毎の発信情報管理と充実したコンテンツ配信を行う。災害時等の一斉通報も実施。</li> </ul>	<p>サービスイメージ</p> <p><b>【クラウド型コンテンツ管理システム】</b></p>  <p>コンテンツの作成 WEBブラウザでコンテンツ作成、配信設定を行う。</p> <p>コンテンツ制作</p> <p>配信スケジュール</p> <p>データセンター</p> <p>クラウドサービスを利用。コンテンツ登録や稼働状況の確認を遠隔で行える</p> <p>SSL通信</p> <p>コンテンツの配信 STB（Set Top Box：セットトップボックス）を使い、コンテンツを表示させる。</p> <p>有線・無線LAN接続</p> <p><b>【デジタルサイネージ】</b></p> <p>町の広域交流地点やコミュニティスペースへ設置</p> <p>コンテンツの表示 地域情報や町からのお知らせ、緊急情報などを発信する</p>	
<p>主なKPI</p>	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <p>①コンテンツの配信件数</p>	<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <p>①サイネージに対する住民満足度</p>	





## 事業概要 【デジタル観光推進事業】

実施地域	埼玉県寄居町	事業費	29,996千円
実施主体	埼玉県寄居町	人口	32,303人
事業概要	<p>国の認定を受けた「寄居町中心市街地活性化基本計画」に基づく、寄居駅南口周辺整備等のハード事業は令和4年度をもって完了するが、今後は街中回遊を促進するソフト事業を展開していく必要がある。また、日本百名城にも選ばれている鉢形城の遺構などをPRするコンテンツが不足している状況にある。そのため、本事業では、街中回遊性の向上および賑わい創出に資するデジタルコンテンツを製作し、町の魅力アップを図る事業を展開する。併せて、デジタルコンテンツ事業と町の地域通貨事業の連動による相乗効果を期待することができる。</p>		
具体サービス	<p><b>【デジタル観光推進事業】</b></p> <p>①中心市街地回遊促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AR等を用いた、参加型のイベントを開催。参加者にはイベントを通して町の魅力を知ってもらう。また、地域通貨を景品にすることで、町内の経済活動の活性化を図る。</li> <li>・AR等を活用し、観光スポットに自然やゆかりの文化を楽しめるコンテンツを用意。観光客の再来訪を促進し、SNSでの情報拡散を図る。</li> </ul> <p>②AR鉢形城</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AR技術を用いて、鉢形城の再現等を行うとともに、鉢形城に関するガイドを行う。</li> </ul>		
主なKPI	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <p>①回遊促進事業の累計利用者数</p> <p>②AR鉢形城の累計利用者数</p>	<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <p>①回遊促進事業およびAR鉢形城の満足度</p> <p>②地域通貨（Yori-Ca）の連動事業の参加者数</p>	

# 事業概要 【鉢形城歴史館20周年準備事業】

実施地域	埼玉県寄居町	事業費	37,631千円
実施主体	埼玉県寄居町	人口	32,303人
事業概要	<p>町では史跡鉢形城跡の第2期保存整備事業に着手中である。鉢形城歴史館は、鉢形城公園内に所在しガイド施設として来園者へ情報提供等を行っている。鉢形城歴史館は令和6年度に開館20周年を迎え、館内のリニューアルを計画しており、来館者の増加と公園周辺の活性化を目的とし、館内常設展示室のAR活用などのデジタルコンテンツを作成する。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【鉢形城歴史館常設展示室映像コンテンツ更新業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページ構築及びグラフィック更新</li> <li>・ モバイル端末用ARコンテンツ作成</li> </ul>	 <p>QRコードを利用した情報展示+グラフィック更新</p> <p>様々なコンテンツと紐づく基本となるホームページを整備、WEBコンテンツとしてQRコードによる情報を提供、音声解説や映像解説などを盛り込む。</p>  <p>モバイル端末を利用したARコンテンツ</p> <p>既存の解説、地形図等にコンテンツを埋め込み、観光客や個人の端末を利用してAR演出を演出、観光の発展や訪れ時の楽しみなどを増やす。企画の推進としてAR活用も図る。</p>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①鉢形城歴史館入館者数</li> <li>②デジタルコンテンツアクセス数</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①鉢形城歴史館満足度（アンケート）</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>	

## 事業概要 【横須賀メタバースプロジェクト】

実施地域	神奈川県横須賀市	事業費	45,000千円
実施主体	神奈川県横須賀市	人口	388,757人
事業概要	<p>市民のメタバースに対する理解度向上を目指すとともに、横須賀の魅力を発信する取り組み。横須賀らしいアイテムやスポットを3D化し、アーカイブを公開することで多くの方に活用してもらうと共に、取り組みを広く周知するためにイベントを開催し、メディア露出を図る。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【横須賀メタバースプロジェクト】 横須賀ブランドを視覚化し、メタバース空間上の拠点での発信・集客と、二次利用による拡散を目的としたデータ共有システム「よこすか3Dライブラリ」をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) WEBサイト開設</li> <li>(2) VRワールド開設・運用 (4か所)</li> <li>(3) よこすか3Dライブラリ (3Dアイテム配布)</li> <li>(4) ポスター・パンフレット制作</li> <li>(5) 広報 (SNS広告・VTuber配信依頼)</li> </ul>	<p>ワールドイメージ</p>  <p>3Dアセット配布イメージ</p>  <p>参考：Booth <a href="http://booth.pm/">http://booth.pm/</a></p> 	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標 (活動指標)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①アセットDL数</li> <li>②3Dデータ掲載数</li> <li>③WEBサイトアクセス数</li> </ul>	<p>【アウトカム指標 (成果指標)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①アセット露出件数</li> <li>②ユーザー満足度</li> <li>③観光地としての魅力度</li> </ul>	

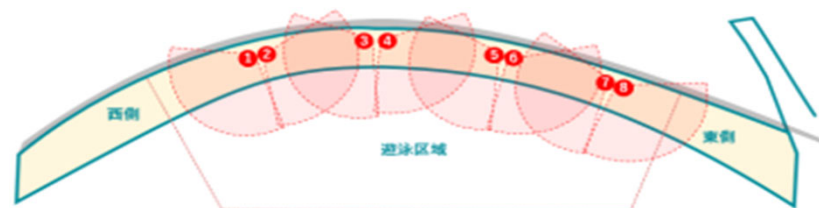
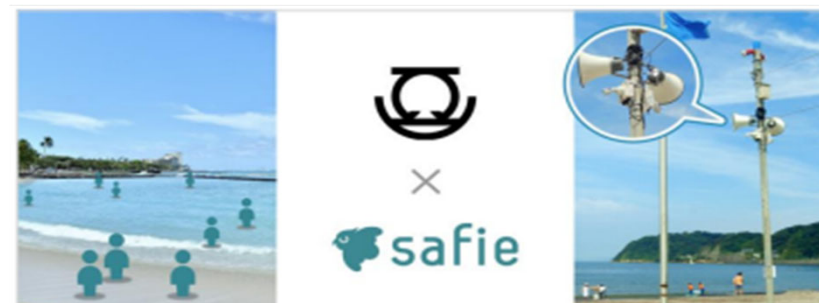
## 事業概要 【小田原合戦を活用した石垣山一夜城の魅力発信事業】

実施地域	神奈川県小田原市内	事業費	9,291千円
実施主体	神奈川県小田原市	人口	187,252人
事業概要	<p>石垣山一夜城は、歴史的に重要な意味を持っている城であり、その城跡は、多くの人々に訪れていただけるポテンシャルの高い場所であるが、その魅力が十分伝わっていない。本事業では、小田原合戦の様子などをCG化し、AR技術を活用して石垣山一夜城跡などで効果的に見ることができるようになるとともに、ホームページなどで掲載する等魅力的なコンテンツを創出し、石垣山一夜城跡への誘客やその歴史的な理解の促進を図る。</p>		
具体サービス	<p>鳥瞰図的に表現した小田原合戦の様子などをCGで再現し、様々な場面で利用する。</p> <p>【観光アプリでの利用】 既存の観光アプリ「小田原さんぽ」を利用し、石垣山一夜城跡や関連の場所で、ARで表現したCGをスマートフォンなどで観覧できるようにする。</p> <p>【PR媒体での利用】 ホームページなどにCG映像のリンクを貼り、スマートフォンなどで見られるようにする。</p> <p>【第三者による利用許可】 観光協会や民間事業者などがCGデータを利用できる仕組みを構築する。</p> <p>【データ連携基盤への連携】 本市は令和4年度総務省「地域課題解決のためのスマートシティ推進事業」においてデータ連携基盤を構築した。将来的には本事業で構築したCG等を他の様々なサービスでも活用（例：市内に設置のデジタルサイネージへの表示等）ができるよう、データ連携基盤に連携をする予定である。</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①観光アプリのダウンロード累計数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①石垣山一夜城跡の観光客累計数</p> <p>②小田原市への観光客累計数</p>	<pre> graph TD     A[小田原合戦等 CGデータ] --&gt; B[アプリ カスタマイズ]     A --&gt; C[リンク 設定]     A --&gt; D[仕組みの 構築]     B --&gt; E[観光アプリ「小田原さんぽ」での利用]     C --&gt; F[PR媒体での利用]     D --&gt; G[第三者による利用]     E --&gt; H[石垣山一夜城跡への誘客 歴史的な理解の促進]     F --&gt; H     G --&gt; H     </pre>



## 事業概要 【海水浴場防犯カメラ・A I 人流把握事業】

実施地域	神奈川県逗子市	事業費	2,207千円
実施主体	神奈川県逗子市、セーフィー株式会社等	人口	59,045人
事業概要	<p>本市最大の観光資源は海岸である。特に海水浴場開設期間は、多くの住民や観光客が海岸に訪れ海岸周辺だけでなく、海岸周辺の住宅街及び駅から海岸までの経路も混雑する。防犯目的で海岸に設置する防犯カメラ（クラウドカメラ）と映像分析A Iセンサーを活用し、人流データの計測・分析を行い混雑状況を可視化し、海水浴場や周辺地域の災害、防犯への利用を目指す。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>逗子海水浴場をみんなで安全に利用してもらうために設置する防犯カメラ（クラウドカメラ）を配置するとともに、その映像を活用してA Iによる人流を把握して混雑状況の管理を行い、利用者や周辺住民の安全、利便性の向上を図る。</p> <p>【海岸人数計測サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防犯カメラ（クラウドカメラ）設置</li> <li>A Iによる映像分析</li> <li>Web経由での映像の遠隔確認</li> </ul> <p>【取組み概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海水浴場の遊泳区域内の混雑状況をリアルタイムかつ定量的に把握</li> <li>遊泳区域内全体において訪問者数を時間帯別・エリア別の傾向を把握</li> <li>混雑時において目視と同じレベルの精度での利用状況を把握</li> </ul>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①情報配信数</p> <p>②</p> <p>③</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①海水浴場に関する苦情件数</p> <p>②</p> <p>③</p>	



図：遊泳区域へのカメラ設置



## 事業概要 【ソーシャルリスニングの活用】

実施地域	神奈川県湯河原町	事業費	6,600千円	
実施主体	神奈川県湯河原町	人口	23,902人	
事業概要	<p>観光ニーズを的確に踏まえた魅力的な観光地を形成するため、SNS、YouTubeをはじめ、ネット上の掲示板、口コミサイト、ブログ、ニュースメディアに投稿された消費者の声をDX手法により、収集分析し、次の事業計画を継続的に示唆するとともに、SNS等の活用を含めたデジタルコミュニケーション戦略を推進していくもの。</p>			
具体サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○データ分析 <ul style="list-style-type: none"> <li>・湯河原に関する論調調査</li> <li>・競合地域との比較調査</li> <li>・コンテンツに関する調査</li> <li>・拡散しているコンテンツの質・量把握</li> <li>・ポジティブ・ネガティブな話題内容の把握</li> <li>・フォトスポットの発見、開発の示唆出し</li> </ul> </li> <li>○トレンド分析 <ul style="list-style-type: none"> <li>・時系列におけるトレンドの変化の把握</li> </ul> </li> <li>○移動ルート分析 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前後の旅行地や旅行者属性などの調査</li> </ul> </li> <li>○デジタルコミュニケーション戦略の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力的な動画作成</li> <li>・SNSによる情報発信</li> </ul> </li> </ul>	<p>The diagram illustrates the process of digital communication strategy implementation. At the top, a cloud contains 'SNS', 'YouTube', and '口コミ掲示板' (word-of-mouth board). Below these are 'ブログ' (blog) and 'ニュース' (news). A downward arrow labeled '情報収集' (information collection) points to a yellow box. Inside the yellow box, it lists '○データ分析' (data analysis) with sub-points: '・旅行者の生の声' (travelers' real voices), '・過去から現在までのトレンドの変化' (changes in trends from past to present), '・観光スポットの評価' (evaluation of tourism spots), and '・潜在的な観光資源' (potential tourism resources). A red arrow points down to '○観光戦略として評価' (evaluation as tourism strategy), followed by '☆デジタルコミュニケーション戦略実施' (digital communication strategy implementation) and '☆事業計画' (business plan).</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①SNSへのアクセス数</li> <li>②動画コンテンツへのアクセス数</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①入込観光客数</li> </ul>		

## 事業概要 【イベントアプリを通じた消費拡大、データ集積】

実施地域	新潟県上越市	事業費	39,866千円
実施主体	新潟県上越市、上越観光コンベンション協会、ORAJA等	人口	185,089人
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当市への来訪者属性や行動特性に関するビッグデータを取得・分析し、本事業のプロモーション等に活用する。</li> <li>・イベントアプリを企画・導入し、当市を代表する各種イベントへの来訪見込み客、来訪者に対してアプリを通じた横展開サービスの提供や情報発信を行い、年間を通じた誘客と、来訪後の市内回遊、消費に寄与する。</li> <li>・アプリを通じて個人の属性情報等を収集・分析し、ニーズ、トレンドを踏まえたプロモーションに活用する。</li> </ul>		
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【イベントアプリ】の企画、導入</p> <p>◎来訪者へのイベント毎のサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会案内機能</li> <li>・マップ機能</li> <li>・プッシュ通知機能 等</li> </ul> <p>◎アプリユーザーへの回遊、消費を促す情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光スポット情報、飲食店情報等の発信</li> <li>・チケット、クーポン等の発行 等</li> </ul> <p>◆当市を代表するイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高田城址公園観桜会（3月下旬～4月中旬）：当市最大の観光イベントであり、その美しさから「日本三大夜桜」のひとつに数えられている。</li> <li>・謙信公祭（8月下旬）：戦国時代の名将・上杉謙信公の武勇と遺徳を讃え偲ぶ祭り</li> <li>・越後・謙信SAKEまつり（10月第4土日）：上越地域の日本酒をはじめ、ワイン、どぶろく、地ビールなど「SAKE」を一堂に集め、紹介するイベント 等</li> </ul> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>イベントアプリ</p> <p>満足度向上 地域回遊</p> </div> </div>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①アプリのダウンロード累計数</li> <li>②アプリプッシュ通知数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①観光入込客数</li> <li>②観光消費額</li> <li>③アプリユーザー満足度</li> </ol>	

## 事業概要 【観光拠点におけるデジタル遊具実装事業】



実施地域	新潟県阿賀町	事業費	23,000千円
実施主体	新潟県阿賀町	人口	9,811人 (R4.12.1)
事業概要	<p>阿賀町の観光拠点である「道の駅阿賀の里」は、これまで集客力のあったテナントが2020年に撤退し、施設の約半分が遊休スペースとなったことが影響し、観光客が減少している。このような課題を解決するため、遊休スペースを新たな年齢層の取り込み対策として天候に関係なく過ごすことのできる屋内遊戯施設にリノベーションする。施設にはプロジェクションマッピング等を活用した体験型設備等を整備し、デジタルと遊具を組み合わせたデジタル遊具を実装することで集客力を向上させ、関係・交流人口の拡大を図るとともに地域の子育て支援を推進する。</p>		
具体サービス	<p>【デジタル砂場システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>従来の砂場にプロジェクションマッピングによる演出を加えたデジタル砂場を整備し、子どもたちが遊びながら学びと体験を得ることができるシステムを導入する。</li> </ul> <p>【デジタルすべり台システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>坂の地形へのプロジェクションマッピングにより、子どもたちが美しい映像や知育ゲームを楽しめるデジタルすべり台システムを導入する。</li> </ul>	<p>【デジタル砂場システム】</p>  <p>【デジタルすべり台システム】</p> 	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①体験施設の利用者数</li> <li>②道の駅阿賀の里売上額</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①体験施設利用者の満足度</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>	



## 事業概要 【立山黒部アルペンルートスマート観光推進事業】

実施地域	富山県	事業費	36,000千円
実施主体	富山県、立山黒部貫光株式会社	人口	1,014,986人 (R4.12.1)
事業概要	<p>世界的な山岳観光ルートである立山黒部アルペンルートの乗り物及びレストランやカフェの混雑を解消し、快適な観光地づくりを推進するため、アルペンルートを運営する立山黒部貫光株式会社が取り組む時間帯別変動料金に対応するためのWEB予約システムの機能向上、情報発信及びアンケート機能を搭載した多機能型セルフオーダーシステムの導入を支援し、観光客の利便性や満足度の向上を図るもの。</p>		
具体サービス	<p>①WEB予約システムの機能向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>需要予測に応じた時間帯別変動料金を適用した商品の販売に向けて、WEB予約システムの在庫管理機能や料金設定機能等を向上</li> </ul> <p>②多機能型セルフオーダーシステムの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ターミナル駅のレストランに観光情報の発信機能やアンケート機能を搭載したセルフオーダーシステムを配備</li> </ul>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①WEB予約率</li> <li>②WEB予約システムによる情報発信件数</li> <li>③多機能型セルフオーダーシステムの利用回数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①立山黒部アルペンルートの入込客数</li> <li>②WEB予約システム利用者の満足度</li> <li>③多機能型セルフオーダーシステム利用者の満足度</li> </ol>	

# 事業概要 【富山きときと空港サポーターズクラブデジタル化推進事業】

実施地域	富山県	事業費	5,600千円
実施主体	富山県	人口	1,014,986人 (R4.12.1)
事業概要	富山きときと空港サポーターズクラブ会員向けアプリの機能拡張、法人会員向け専用サイトの構築し、富山きときと空港発着便に関する各種情報のお知らせや搭乗特典受付等のデジタル化を図ることで、空港利用者の利便性を向上させるもの		
具体サービス	<p>【サポーターズクラブアプリの機能拡張】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法人会員向けデジタル会員証の表示</li> </ul> <p>【サポーターズクラブ法人会員向けサイト構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種情報（ダイヤ改正、キャンペーン）掲載</li> <li>搭乗特典受付</li> <li>新規入会登録</li> <li>登録情報変更</li> </ul>	<p>【サポーターズクラブアプリの機能拡張】</p> <p>・法人会員向けデジタル会員証の表示 ※イメージ</p>  <p>【サポーターズクラブ法人会員向けサイト】 ※イメージ</p>  <p>デジタル会員証提示で、空港内店舗等において、割引特典</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>法人会員数</li> <li>法人会員向け搭乗特典の申請件数</li> <li>アプリのダウンロード数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>サポーターズクラブ法人会員の満足度</li> </ol>	

## 事業概要 【南砺市VR360度バーチャルツアー制作事業】

実施地域	富山県南砺市	事業費	5,500千円
実施主体	富山県南砺市、株式会社SeiRogai等	人口	47,778人
事業概要	<p>南砺市は、数多くの文化的に価値の高い観光資源を有しながら、知名度の低さにより、現状のPR活動ではインバウンド誘客のために魅力を伝える段階にまで進まないことが多かった。VR360度バーチャルツアーを制作することにより、PR活動を体験型コンテンツ化することで南砺市の魅力をPRする。受託事業者の国際的人脈と経験により効果的にPR活動を行う。また、VRツアー動画から旅行予約できるECサイトへ移動できるよう、動画上にECサイトのバナーを設ける。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【VR360度バーチャルツアーサービス】</p> <p>シンガポールを中心としたインバウンド観光客を対象に、南砺市の自然・伝統・文化・歴史的教育の観点も含め、映画風のストーリー仕立ての360度VR映像を制作する。</p> <p>また、オンライン上で360度VR映像を視聴し、南砺市の魅力を実感したあと、すぐに旅行やお土産品の購入などにつなげるために、VR動画の最後にECサイトへのバナーを設け、購買行動へ誘導する。</p> <p>さらに、市内外で開催されるインバウンド観光客が訪れるイベントに出展し、南砺市の魅力を360度VR映像を活用してPR活動を行う。</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①360度VRツアーの視聴回数</li> <li>②DXプラットフォーム上の南砺市専門ページからの関連ECサイトへのアクセス数</li> <li>③イベントでのVR体験者数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①DXプラットフォームでVRツアーを経験して南砺市へ来訪した外国人宿泊客数</li> <li>②南砺市内の宿泊客の観光消費額</li> </ol>	

# 事業概要 【金沢城デジタルコンテンツ制作事業】

実施地域	石川県金沢市	事業費	52,000千円
実施主体	石川県	人口	1,124,501人
事業概要	<p>新型コロナウイルスの影響で半減した金沢城公園への来場者を増やすため、金沢城公園の復元された建造物・庭園や江戸時代から残る金沢城の石垣、および現在復元整備を進めている二の丸御殿のデジタルコンテンツを制作する。歴史や魅力の周知、御殿復元への期待感の醸成、来園者の満足度向上のため、江戸期の御殿の姿を高精細なVR映像により再現するとともに、金沢城の石垣の魅力を紹介する動画を制作し、情報発信に活用する。</p>		
具体サービス	<p><b>&lt;魅力発信&gt;</b>  <b>【VRコンテンツ】</b>                  ・御殿建造物及び周辺の外観及び内装を3Dモデリングし、VRにより再現。  <b>【インターネット配信】</b>                  ・VR映像を活用したPR映像を制作し、インターネット経由で全国に配信。  <b>【動画制作】</b>                  ・金沢城ならではの石垣の魅力(技と美)を解説した動画を制作し、インターネット経由で全国に配信。  <b>&lt;来園者の満足度向上&gt;</b>  <b>【スマートフォンアプリ】</b>                  ・公園内で作動するアプリを導入し、VR映像により当時の城郭の姿を再現。</p>		
主なKPI	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b>                  ①アプリダウンロード数                  ②インターネット動画閲覧数</p>	<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b>                  ①金沢城公園来園者数                  ②VRアプリ利用者の満足度                  ③動画視聴者の満足度</p>	



# 事業概要 【移動データ活用基盤構築事業】

実施地域	石川県全域（主にIRいしかわ鉄道沿線地域）	事業費	193,000千円	
実施主体	石川県、IRいしかわ鉄道、IRいしかわ鉄道利用促進協議会(仮称)	人口	1,124,501人	
事業概要	<p>R6春の北陸新幹線の県内全線開業に伴い、JR西日本から金沢以西区間の経営を引き継ぐIRいしかわ鉄道の利便性向上のため、交通系ICカードの利用環境を提供するとともに、ICカードの利用に応じたポイント付与を行う施策（サポーター制度）を導入。また、利用者属性情報や人流データ等からIRいしかわ鉄道の利用実態を解析し、利用者の利便性向上に繋げるため、EBPMに基づく利用促進の社会実装モデルを構築する。</p>			
具体サービス	<p><b>&lt;ICカード利用環境整備によるキャッシュレス対応&gt;</b>          ・金沢以西延伸後の並行在来線「IRいしかわ鉄道」全線で交通系ICカードの利用環境を提供。</p> <p><b>&lt;サポーター制度によるポイント還元サービス&gt;</b>          ・ICカードの利用に応じてポイント付与を行うサポーター制度の導入に向けたシステムを整備。</p> <p><b>&lt;利用実態の分析・把握による利便性向上&gt;</b>          ・人流データ・SNS等から得られる移動情報や観光情報を分析。IRいしかわ鉄道の利用者属性情報等と合わせて利用実態を把握することで、朝夕の通勤・通学者に配慮したダイヤ編成、観光施設と連携した企画乗車券の造成、駅への接続性の向上に繋げ、利便性向上を図る。</p> <p>※本事業により分析・把握を行う利用実態等は、将来的に県データ連携基盤と連携</p>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①サポーター登録者数          ②IC利用に応じて付与した年間ポイント総数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①IRいしかわ鉄道の利用者満足度          ②ICカード乗車率</p>		

## 事業概要 【恐竜エリア拡大プロジェクト】

実施地域	福井県	事業費	53,542千円
実施主体	福井県	人口	751,761人
事業概要	<p>「恐竜エリア拡大プロジェクト」は、令和6年春の北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、「恐竜といえば福井」と感じられるエリアを整備するため、福井駅周辺に様々な展示物（恐竜コンテンツ）を配置し、来県者に「恐竜王国福井」をPRするとともに、賑わいの創出を図るため実施する。</p>		
具体サービス	<p>【デジタルサイネージ設置による駅周辺情報等の提供】</p> <p>タッチパネルディスプレイによるデジタルサイネージ「恐竜コンシェルジュ」に恐竜が登場し、JR福井駅周辺情報※を提供</p> <p>※恐竜ロボット等の恐竜をテーマとしたコンテンツの配置状況のほか、福井城址等の周辺の観光情報等を掲載</p> <p>＜設置のねらい＞</p> <p>北陸新幹線の福井・敦賀開業に向けた一大プロジェクトとして福井駅周辺に巨大恐竜ロボットなど数多くの恐竜コンテンツを整備し、来県者へのおもてなし体制を整える。このプロジェクトの成否は、いかに多くの方に恐竜コンテンツを見て・楽しんでいただいたかによるが、その核となるのが「恐竜コンシェルジュ」である。福井駅から出てすぐの分かりやすい位置に設置し、恐竜コンテンツのほか周辺観光地も紹介することにより、恐竜コンテンツの設置効果を高めていく。</p>	<p>※恐竜コンテンツの内訳 恐竜コンシェルジュ、恐竜ロボット（2体）、ARディスプレイ（4台）、3Dホログラムディスプレイ、ビル・路上機器等ラッピング装飾 ほか</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①サイネージデータ（利用者数）</p> <p>②サイネージデータ（デジタルスタンプラリー参加数）</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①中心市街地回遊者の増（エリア内回遊者）</p> <p>②デジタルサイネージ利用者の満足度</p>	

# 事業概要 越前市発オリジナルVtuberによる情報発信力強化事業

実施地域	越前市および全国、海外	事業費	100,000千円
実施主体	越前市、 紫式部プロジェクト推進協議会、 Activ8株式会社（東京都渋谷区）	人口	81,006人
事業概要	<p>2024年、本市は、北陸新幹線県内開業に伴い越前たけふ駅が新設され、さらにNHK大河ドラマでは本市ゆかりの紫式部が主人公の「光る君へ」が放送される。このまたとない機会を活かして、全国や海外からの認知向上と情報発信力の強化を行い、継続的な関係人口の創出に繋げていきたい。そこで、社会的注目度も高く、本市ではすでに産官学が連携し、取り組んでいるメタバースをテーマに事業を企画。官学連携により学生と制作したキャラクターをVtuberとして活用し、SNSのフォロワーなどとコミュニケーションを取ながら市のPR活動を行う。さらに他のVtuber等も出演する音楽イベントを開催することで、情報発信力のあるインフルエンサーとして確立し、継続的な情報発信により持続的な関係人口の創出を図る。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【Vtuber開発育成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2022年に本市が学生と制作した紫式部のオリジナルキャラクターを3Dモデル化</li> <li>Vtuberとして活動する人材選定のオーディション開催、動画メディア・SNSでのコンテンツ配信、他人気Vtuberとのタイアップ、マスメディア出演等の活動</li> <li>キャラクターの3Dモデルの使用に関する著作権をフリーにし、ファンやクリエイターが、キャラクターを使用し自由に創作できる仕組みを構築</li> </ul> <p>【メタバースイベント事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有料のイベントを市内・オンライン同時開催</li> <li>本市のオリジナルVtuberの他、活動を通して繋がった他人気Vtuberやタレントが出演</li> <li>チケットのほか、限定商品の販売、企業協賛により黒字化する事業として実施</li> </ul>	   <p>▲紫式部オリジナル2Dキャラクター</p> <p>▲ドラマ制作決定 NHKホームページより</p> <p>「越前市のインフルエンサー」を作り出すことで、イメージ醸成を図ると同時に、広告費を掛けない情報発信力を獲得。</p>   <p>▲(C)Kizuna AI</p> <p>越前市内屋外施設・動画ストリーミングサービス上で同時開催・配信、越前市の認知度向上と経済振興に寄与</p>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>Vtuberの発信コンテンツ数</li> <li>Vtuberの総フォロワー・チャンネル登録者数</li> <li>イベントの来場数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>メディア露出による広告換算</li> <li>市外のYoutubeチャンネル登録者数</li> <li>観光客入込数</li> </ol>	

## 事業概要 【多様な観光情報に対応した情報発信最適化事業】

実施地域	長野県	事業費	11,792千円
実施主体	長野県	人口	2,017,686人 (R4.12.1)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県公式観光サイト「GoNAGANO」(以下「GoNAGANO」) 閲覧者の満足度向上及び訪問当たりの閲覧情報量を増やすため、サイトの閲覧履歴から訪問傾向等の分析を行う機能を付加し、閲覧者ごと最適化された興味関心の高い情報を提供。</li> <li>・地域が抱える課題の洗い出しのため、訪問傾向分析から得られたデータを地域へ還元。</li> </ul>		
具体サービス	<p>【閲覧者の傾向を把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「GoNAGANO」の閲覧傾向データとユーザー情報とを紐づけし、観光プロモーションに活用できるマーケティングデータとして取得</li> <li>⇒データをレポート化したものを地域（市町村等）へ還元し、各地域で課題の洗い出しに活用</li> </ul> <p>【閲覧者が求める情報をタイムリーに発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レコメンドエンジン機能の付加により、「GoNAGANO」の閲覧傾向から、ユーザーの嗜好に合致したコンテンツ記事を自動で表示</li> <li>⇒閲覧者の興味関心が高い情報を提供することでユーザー満足度の向上と閲覧情報量を増加させる</li> </ul>	<p>ユーザー (閲覧 (データ収集)) → GoNAGANO (データの統合・分析・可視化) → 還元 (分析データに基づく情報発信 閲覧傾向に応じたメルマガの配信)</p> <p>↓ 還元</p> <p><b>市町村、DMO 等</b> ⇒ プロモーション、課題洗い出し</p> <p>↑ 分析データに基づき、おすすめ記事をユーザーごとに切り替えて自動で表示される</p>	
主な KPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①訪問 1 回あたりの閲覧記事数</li> <li>②分析で得られた関心度の高いコンテンツを県公式観光サイトで記事化</li> <li>③「GoNAGANO」サイトユーザー数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「GoNAGANO」利用者満足度</li> <li>②信州ファンの増加（ファンコミュニティ登録者数）</li> <li>③県内の観光消費額</li> </ol>	



## 事業概要 【デジタルサイネージによる観光情報発信高度化事業】

実施地域	長野県北安曇郡小谷村	事業費	27,830千円
実施主体	(一社) 小谷村観光連盟	人口	2,682人(R4.12.1現在)
事業概要	<p>村内パブリックエリアにデジタルサイネージを導入し、着地（村内観光地）の具体的かつ旬なイベント情報を発信することで、観光客の周遊を促し、滞在時間等の向上を見込む。</p> <p>都市圏のPRイベント等にも活用し、SNSと連動した参加型情報発信ツールとしても活用するなど、高齢層から若年層まで、幅広い観光客層へ訴求するデジタルツールとしての運用を模索する。</p>		
具体サービス	<p><b>観光情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本情報として、4種類のコンテンツ（村内天気、独自の道路情報、県内ニュース、SNS（Instagramと連携）を表示する。</li> <li>村や観光事業者のイベントなど、「今、楽しめる」旬な情報を発信することで、観光客の滞在時間や消費活動の向上を見込む。</li> <li>キャスターが付いた移動式屋外型を採用し、グリーン期は道の駅、南小谷駅、冬季はスキー場チケット売り場など、村内での柔軟に配置する。</li> </ul> <p><b>村外でのPRイベントの質向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市圏でのPRイベントにタブレットを持ち込み、村外各地で小谷村の情報を発信する。</li> </ul>	 	
主なKPI	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 村内観光イベントの情報発信数</li> <li>② SNS連動イベントの実施数</li> <li>③ 村内外PRイベントでの活用数</li> </ol>	<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① サイネージによるイベント活性化数</li> <li>② SNS内のハッシュタグ投稿件数</li> <li>③ 観光事業者の事業への満足度（5段階評価の平均値）</li> </ol>	

## 事業概要 【デジタルシェアサイクルを活用した観光利便性向上・周遊促進事業】

実施地域	長野県北安曇郡小谷村	事業費	12,544千円
実施主体	長野県北安曇郡小谷村	人口	2,682人(R4.12.1現在)
事業概要	<p>小谷村は観光スポットが散在していることや、鉄道及び公共交通の駅・バス停から離れていることにより、鉄道を利用する観光客は、観光スポットを巡るのに多くの時間や費用を要し周遊が進まない状況である。</p> <p>そこで、シェアサイクルを導入（JR中土駅のステーション整備、電動アシスト付き自転車の購入、スマートフォンアプリで利用・決済が可能な環境を整備）し、観光客の交通利便性向上・周遊促進を図る。</p>		
具体サービス	<p><b>電子決済方式のシェアサイクル導入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>拠点となる中土駅のステーション整備</li> <li>電動アシスト付き自転車の購入</li> <li>スマートフォンアプリの利用・決済システム導入</li> </ul> <p><b>決済データ・位置情報データの利活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>位置情報を取得することで、自転車利用の状況から観光スポットの統計を取得することができる。</li> <li>取得データを観光戦略構築に利用し、観光体験の向上を進める。</li> </ul>	 <p>スマホアプリの 借りるボタンを押す</p> <p>↓</p> <p>ロックが開く</p> 	
主なKPI	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <p>① シェアサイクルの利用者数</p>	<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <p>① シェアサイクルサービスの満足度</p>	

# 事業概要 【「ぎふ長良川の鶺鴒」鶺鴒観覧船予約システムの充実化とオンライン決済導入】

実施地域	岐阜県岐阜市	事業費	13,871千円
実施主体	岐阜県岐阜市	人口	402,557人（令和2年国勢調査）
事業概要	<p>岐阜市の観光を代表する「ぎふ長良川の鶺鴒」に訪れるお客様の利便性向上や行政事務の効率を高めることを目的に鶺鴒観覧船事務所でDX改革を推進。事業概要としては大きく2点。1つ目は観覧船予約システムを改修することで全メニューにおいてネット予約を可能にする。2つ目は、乗船料の決済手段についてオンライン式での決済サービスを導入。</p>		
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>【鶺鴒観覧船予約システムの充実化とオンライン決済導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鶺鴒観覧船の予約を全てのメニューにおいてインターネットから行うことができるよう改修。</li> <li>鶺鴒観覧船乗船料のオンライン決済導入</li> </ul> <p>※インバウンド旅行客へ対応するため多言語仕様（日本語、英語、中国語）</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>鶺鴒観覧船に興味のある人、観覧を希望する人等</p> <p>「ぎふ長良川の鶺鴒」ホームページを閲覧</p> <p><b>鶺鴒観覧船予約システム オンライン化</b></p> <p>「ぎふ長良川の鶺鴒」ホームページ上で予約（これまでは電話か窓口での予約が主）</p> <p><b>鶺鴒観覧船乗船料のオンライン決済導入</b></p> <p>「ぎふ長良川の鶺鴒」ホームページ上で予約（これまでは全て当日乗船前に窓口で支払）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>24時間予約受付が可能。時間帯や場所を選ばず予約できる。</li> <li>オンライン決済だから現金を持たず窓口に！受付時間も短縮。</li> <li>予約等の段階で不便を感じ観覧をあきらめていた人たちも、スムーズに予約・決済まで可能となり、乗船者の増加につながる！</li> </ul> <p>※交付金活用</p> </div> </div>		
<p>主なKPI</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>インターネット予約による乗船客の割合</li> <li>オンライン決済を利用する乗船客の割合</li> <li>リマインドメールを活用したお客様への情報提供メニュー件数</li> </ol> </div> <div style="width: 50%;"> <p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>インターネット予約、オンライン決済に関するサービスの満足度</li> <li>市民サービスの向上（券売窓口での待ち時間低減）</li> <li>事務効率化</li> </ol> </div> </div>		

## 事業概要 【飛騨高山の旧城下町をデジタルマップで巡る旅】

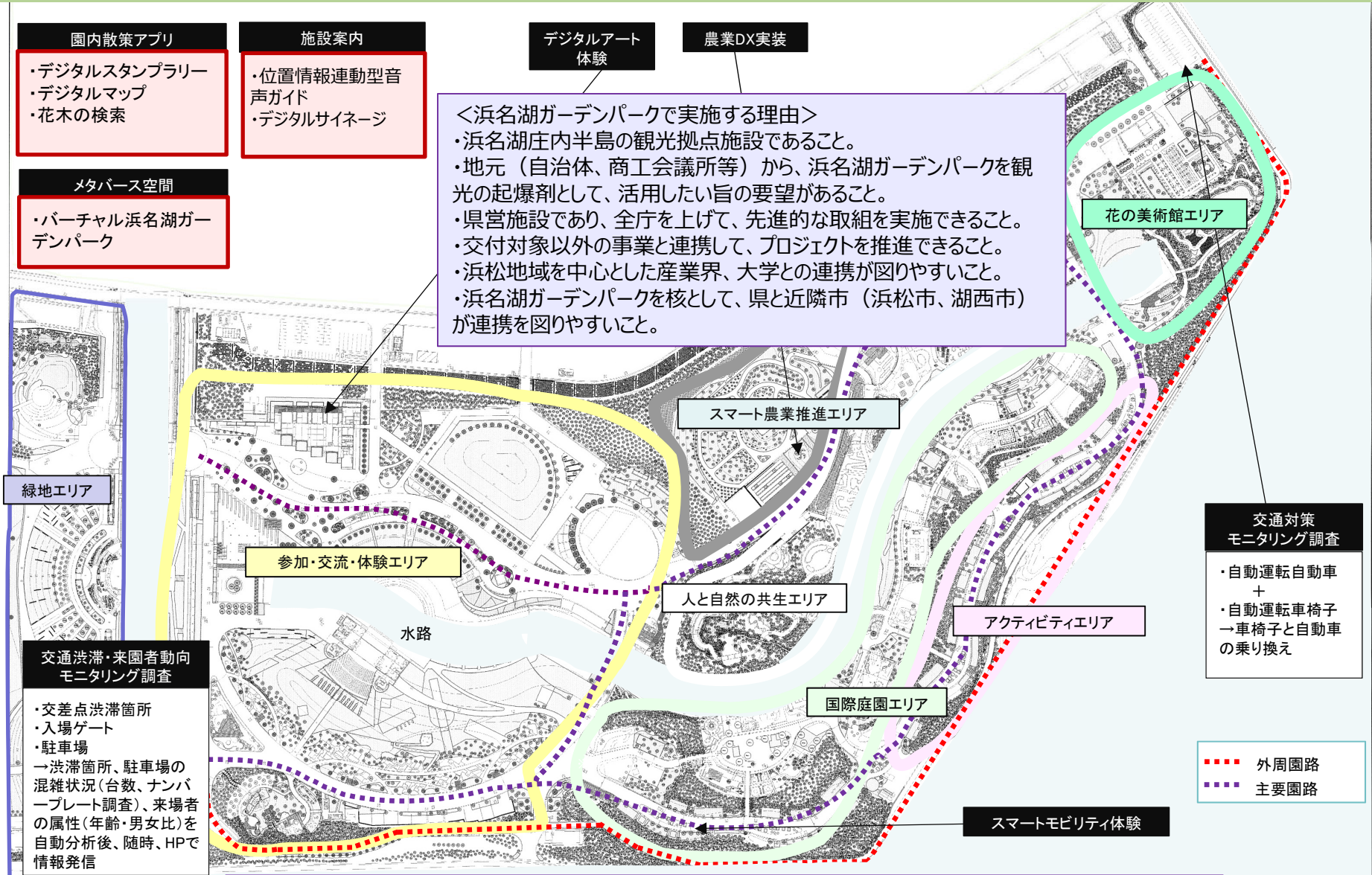
実施地域	岐阜県高山市	事業費	2,000千円
実施主体	岐阜県高山市	人口	85,463人
事業概要	紙媒体の印刷やPDF形式により公開している市街地中心部の「散策マップ」をデジタル化し、誰もがスマートフォン等で手軽に閲覧できるようにする。 観光客に情報提供する内容の充実や迅速化を図るとともに、コミュニケーションや販売促進等のツールとしての利活用を進めることにより、コロナ禍からの力強い回復が望まれる地域の活性化に繋げる。		
具体サービス	<p>①デジタルマップの制作、公開 既存の「散策マップ」をもとに、親しみ易くかつ分かり易いデジタルイラストマップを制作 観光施設などの「スポット」、官民による「イベント」などの情報をデジタルイラストマップ上に掲載して公開</p> <p>②利用者相互のコミュニケーション 設定した「ルーム」に参加した利用者が相互の現在地を確認したり、チャットで交流できるようにすることにより、当地における滞在の満足度を向上</p> <p>③利用者データの分析、活用 利用状況の可視化、行動分析などにより、観光分野におけるEBPMを推進</p>	【イメージ】	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①デジタルイラストマップへのアクセス数 ②デジタルイラストマップへの掲載施設入館者数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①観光客の満足度（「良い」と回答する割合） ②観光消費額単価（宿泊客）</p>	



## 事業概要 【静岡県レイクハマナ活性化プロジェクト】

実施地域	静岡県浜松市	事業費	28,800千円
実施主体	静岡県	人口	3,578,761人
事業概要	観光業、漁業が低迷し、過疎化が進む浜名湖庄内半島において、地域最大の観光スポットである浜名湖ガーデンパークの魅力を向上させることにより、地域外から人を呼び込むとともに、周辺観光地への周遊を促すことで観光産業の活性化を図る。		
具体サービス	<p>【交付対象事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①施設案内、周辺観光地情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>・位置情報連動型音声ガイド（5か国語対応）</li> <li>・デジタルサイネージ</li> </ul> </li> <li>②施設の魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内散策アプリ（デジタルスタンプラリー、花木の検索）</li> <li>・園内散策アプリ（デジタルマップ）</li> </ul> </li> <li>③バーチャル浜名湖ガーデンパーク <ul style="list-style-type: none"> <li>・メタバース</li> </ul> </li> </ul>	<p>【その他事業（交付対象外）】</p> <p>※交付対象事業と連携して実施する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルアートイベント</li> <li>・農業DXの実装</li> <li>・交通対策モニタリング調査（自動運転自動車＋自動運転車椅子の連携による過疎地の交通対策調査）</li> <li>・交通渋滞モニタリング調査（交通渋滞箇所調査）</li> <li>・舟運（地元漁業関係者との連携により浜名湖ガーデンパーク、観光地等を舟により周遊する仕組みづくり）</li> </ul>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①位置情報連動型音声ガイドサービスの累計利用者数</li> <li>②デジタルサイネージの累計視聴者数</li> <li>③園内散策アプリ（デジタルスタンプラリー、花木の検索）のダウンロード累計数</li> <li>④園内散策アプリ（デジタルマップ）のダウンロード累計数</li> <li>⑤メタバース空間入場者数</li> <li>⑥浜名湖ガーデンパーク来場者の累計来場者数</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①位置情報連動型音声ガイドサービスの満足度</li> <li>②デジタルサイネージの満足度</li> <li>③園内散策アプリ（デジタルスタンプラリー、花木の検索）の満足度</li> <li>④園内散策アプリ（デジタルマップ）の満足度</li> <li>⑤メタバース空間の満足度</li> <li>⑥浜名湖ガーデンパークの満足度</li> </ul>	

# 事業概要【静岡県レイクハマナ活性化プロジェクト】



**園内散策アプリ**

- デジタルスタンプラリー
- デジタルマップ
- 花木の検索

**施設案内**

- 位置情報連動型音声ガイド
- デジタルサイネージ

デジタルアート体験

農業DX実装

＜浜名湖ガーデンパークで実施する理由＞

- ・浜名湖庄内半島の観光拠点施設であること。
- ・地元（自治体、商工会議所等）から、浜名湖ガーデンパークを観光の起爆剤として、活用したい旨の要望があること。
- ・県営施設であり、全庁を上げて、先進的な取組を実施できること。
- ・交付対象以外の事業と連携して、プロジェクトを推進できること。
- ・浜松地域を中心とした産業界、大学との連携が図りやすいこと。
- ・浜名湖ガーデンパークを核として、県と近隣市（浜松市、湖西市）が連携を図りやすいこと。

**メタバース空間**

- バーチャル浜名湖ガーデンパーク

緑地エリア

参加・交流・体験エリア

人と自然の共生エリア

アクティビティエリア

国際庭園エリア

**交通対策  
モニタリング調査**

- ・自動運転自動車 + 自動運転車椅子 → 車椅子と自動車の乗り換え

●●● 外周園路  
●●● 主要園路

**交通渋滞・来園者動向  
モニタリング調査**

- ・交差点渋滞箇所
- ・入場ゲート
- ・駐車場
- 渋滞箇所、駐車場の混雑状況(台数、ナンバープレート調査)、来場者の属性(年齢・男女比)を自動分析後、随時、HPで情報発信

スマートモビリティ体験

※浜名湖ガーデンパークの概要  
住所：静岡県浜松市西区館山寺195  
浜名湖の庄内半島最南端、弁天島の対岸に位置する県営公園。総面積56ha。年間来園者数130万人。

# 事業概要 【観光デジタルマップの作成】

実施地域	愛知県 名古屋市	事業費	16,000千円
実施主体	名古屋市	人口	2,325,946人 (R4.12.1)
事業概要	<p>・観光分野でもSDGsの観点からデジタル化が進行中。(ドイツ観光局は観光パンフレットを100%オンライン化)</p> <p>・訪日外国人観光客の受入が再開したが、観光消費拡大のためには、回遊性向上と消費機会の拡大が重要。</p> <p>・こうした課題に対し、観光DXとして、従来、紙が主体であった観光マップをデジタル化し、さらにAIを活用することで、観光客の市内回遊や観光消費の需要を掘り起こし、紙の削減とともに地域の経済効果拡大を推進する。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p><b>【観光デジタルマップ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市の観光デジタルマップを、ダウンロードアプリではなく、ブラウザ上で使用するwebアプリ式で名古屋市公式観光ウェブサイト上に搭載し、サービスを提供。</li> <li>・観光客個々人の嗜好や気分に合わせて観光スポットや飲食店などの訪問候補地を提案する「AIレコメンド機能」も搭載。</li> <li>・公式観光ウェブサイトでも紹介している観光モデルコースなども、デジタルマップ上でコース表示。</li> </ul>	 <p>観光デジタルマップ (イメージ)</p>	 <p>ユーザーの好みや気分に応じてAIがスポットを推奨</p>  <p>名古屋市公式観光サイトのモデルコースをマップ上に表示</p>
主なKPI	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① デジタルマップ利用者数</li> <li>② 紙の観光マップの削減数</li> <li>③</li> </ol>	<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 観光客1人あたりの平均訪問スポット数</li> <li>② 観光消費額の増加割合</li> <li>③ 観光デジタルマップ利用者満足度</li> </ol>	



# 事業概要 【セントレア常滑マイクロMaaS(仮称)による観光客・住民の周遊性向上】

実施地域	愛知県常滑市	事業費	29,729千円
実施主体	セントレア常滑マイクロMaaSコンソーシアム(仮称)	人口	58,452人 (R4年12月末)
事業概要	<p>中部国際空港島・周辺地域（以下「空港島・周辺地域」）および常滑市街地（以下「市街地側」）において、航空、鉄道・バス・コミュニティバス、シェアサイクルなどの異なる交通モードをMaaSで繋ぎ、乗換検索やクーポン配信などにより観光や生活における周遊性を高める。将来的には県が独自で実装を目指している自動運転も組み込むことを想定している。</p>		
具体サービス	<p>【セントレア常滑マイクロMaaS(仮称)概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 鉄道事業者が提供するMaaSアプリの当該地域向けローカル版を作る。</li> <li>2. 鉄道・バス・コミュニティバス、シェアサイクルなどを一気通貫で検索できるようにし、近隣商業事業者のクーポンも配信する。</li> <li>3. 鉄道事業者提供のMaaSアプリ、県が独自に構築するMaaSアプリとの連携も図る。</li> <li>4. 行動理解エンジンにより、過去に当該地域を訪問したことがある観光客のビックデータを分析することにより、その特徴点を抽出し、同様の特徴点を持つ東海地方の人に来訪を呼びかける。</li> <li>5. 県が独自で実装を目指している自動運転バスを将来的にMaaSに組み込むことも想定する。</li> </ol>	<p>デジタル側の仕掛け(異業種の各事業者が共通でマイクロMaaSを周知・誘客)</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① MaaSアプリへのアクセス数</li> <li>② MaaSアプリに登載される市内施設数</li> <li>③ MaaSアプリにクーポンを掲載する店舗・施設数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 市街地側主要観光地(やきもの散歩道)入込客数</li> <li>② コミュニティバスの利用者数</li> <li>③ MaaSで生活利便性が向上したと考える人の割合</li> </ol>	



## 事業概要 【デジタルサイネージ等を活用した地域の魅力向上】

実施地域	三重県東員町全域	事業費	26,281千円
実施主体	三重県東員町、株式会社ラッキータウンテレビ、株式会社バッファロー他	人口	25,923人
事業概要	本町の観光資源である都市公園やスタジアム周辺を中心にデジタルサイネージを整備し、地域・行政情報を発信するとともに、ARアプリを活用して地域の魅力を楽しんでもらうためのデジタルサービスを提供する。		
具体サービス	<p>①デジタルサイネージ 本町の観光資源である中部公園とスタジアム、本町の主要鉄道駅と役場施設にデジタルサイネージを整備し、来訪者に向けて地域・行政情報を提供する。</p> <p>②ARアプリ 中部公園散策やスタジアムでの観覧時において、AR等デジタル技術を活用し、アミューズメント要素を付加するアプリサービスを提供する。</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①デジタルサイネージの情報発信件数</p> <p>②ARアプリの利用回数</p> <p>③</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①デジタルサイネージ利用者満足度</p> <p>②ARアプリ利用者満足度</p> <p>③ヴィアティン三重ホーム戦の平均観客者数</p>	

# 事業概要 【観光情報発信DX事業】

実施地域	滋賀県	事業費	5,860千円
実施主体	(公社)びわこビジュアルビューロー	人口	1,409,391人
事業概要	観光物産情報ウェブサイト（(公社)びわこビジュアルビューローのホームページ）において、チャットボットおよびムービーライブラリーシステムを導入し、24時間対応によるサービスの向上を図るとともに、問合せ対応や動画提供対応を効率化する。		
具体サービス	<p>【チャットボット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光物産情報ウェブサイトに配置 (<a href="https://www.biwako-visitors.jp/">https://www.biwako-visitors.jp/</a>)</li> <li>利用者からの問合せに対して自動応答</li> <li>24時間365日稼働</li> <li>管理者によるシナリオ登録</li> <li>管理者による問合せ履歴分析 等</li> </ul> <p>【ムービーライブラリーシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動画の検索、利用申請、利用条件確認、ダウンロード</li> <li>動画の登録・削除、利用申請の承認、利用実績の確認 等</li> </ul>	<p><b>チャットボット</b></p> <p><b>ムービーライブラリーシステム</b></p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①チャットボットの利用回数</li> <li>②動画のダウンロード数</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①問合せ対応削減時間</li> <li>②動画提供対応に係る削減コスト</li> <li>③観光入込客数</li> </ul>	

# 事業概要 【観光MaaSシステム構築事業】

実施地域	滋賀県長浜市	事業費	29,000千円
実施主体	滋賀県長浜市 等	人口	115,152人
事業概要	<p>観光と交通の情報を一元化・集約し、観光客のニーズに応じた旬の観光情報や体験・アクティビティ等の情報を提供する。それらの観光情報が入口となり、ルート検索から予約、決済まで行うことのできる観光MaaSシステムの開発を行う。</p>		
具体サービス	<p>【webポータルサイトによる情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旬の情報提供をはじめとする楽しみ方の提案</li> <li>目的地までのルート案内</li> <li>位置情報を利用した周辺スポットの案内</li> <li>体験コンテンツの特集</li> </ul> <p>※既存のアプリサービスとの連携</p> <p>【便利でお得なデジタルチケット・クーポン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通デジタルチケット</li> <li>外部システムと連携したチケット等の販売</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のコンテンツサプライヤー等との連携 (情報発信・企画)</li> </ul>	<p>▶情報取得して</p> <p>▶行動へ</p> <p>特集ページ(旬な情報)</p> <p>おすすめコース提案</p> <p>周辺情報の提供</p> <p>観光スポット情報</p> <p>体験コンテンツ</p> <p>チケット/クーポン</p> <p>連携機能: スポット情報DB/経路検索/MAP</p> <p>同コンテンツを複数IFで展開ユーザーとの接点を増やす</p> <p>長浜モード(アプリ)</p> <p>※欲しい情報がすぐに見つかる ・カテゴリーから検索などの工夫 ・MAPへの表示と経路検索</p> <p>CMS MAP/経路検索</p> <p>※外部システムを適宜活用 ・体験/施設/イベントチケット等の販売 ・交通デジタルチケット</p> <p>外部システム(GFJTB/jorudan)</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標 (活動指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①WEBポータルの利用者数</li> <li>②地域内連携による情報発信</li> </ol>	<p>【アウトカム指標 (成果指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①利用者満足度</li> </ol>	

# 事業概要 【デジタルを活用した奈良県観光の新たな価値の創造】

実施地域	奈良県	事業費	50,000千円
実施主体	奈良県	人口	1,335,378人 (R5.1.31時点)
事業概要	<p>コロナ禍で変容した旅行ニーズを適切に把握するとともに、デジタル技術を活用し、<b>地域の魅力向上、来訪者の快適性向上、効果的なプロモーション展開等</b>、県内観光において強力にDXの推進を図る。</p> <p>【目指す姿】 ①ここにしかない魅力であふれる観光地・奈良 - 「地域の魅力向上に繋がるもの」 -                  ②いつ来ても快適な観光地・奈良 - 「来訪者の快適性向上に繋がるもの」 -                  ③選ばれる観光地・奈良 - 「奈良県への来訪・再訪の向上に繋がるもの」 -</p>		
具体サービス	<p>【実装サービスの方向性】</p> <p>I. データとデジタル技術を活用した、来訪者や観光関連事業者のニーズに基づく効果的な観光振興手法への変革                  II. デジタル技術を活用した県独自の魅力・価値の最大化による観光地・奈良の優位性向上</p>		
	<p>【実装サービスの内容】</p> <p>1. 旅行者属性に応じた観光コンテンツの提案ツールの構築・実装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AIを活用し、旅行者属性に応じたリコメンド情報を提供するサービスを実装。</li> <li>利用者が快適に旅情報を収集できることで、来訪頻度の向上と滞在時間の延長を図る。</li> </ul> <p>2. 奈良県の優位性を活かした周遊・滞在型巡礼システムの構築・実装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルスタンプラリーを活用した100カ所巡礼イベントシステムを実装。</li> <li>県内の長期滞在を促すことで、地域消費の向上を図るとともに、デジタルを活用した利用者が巡礼しやすい環境整備を図る。</li> </ul>	<p>▲ 実装サービスのスキーム例                  (旅行者属性に応じた観光コンテンツの提案ツールの実装)</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①AIを活用したスポット情報のリコメンドツールの観光コンテンツの登録数                  ②奈良県の優位性を活かした周遊・滞在型巡礼システムの延べ利用者数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①延べ宿泊者数</p>	




## 事業概要 【観光誘客促進に向けたCRMアプリの導入】

実施地域	奈良県奈良市	事業費	35,000千円
実施主体	奈良県奈良市	人口	351,418人
事業概要	観光客の需要に即した取組により、旅行消費の増大とリピーター確保を図ることで、地域経済を持続的に活性化するため、CRM(顧客関係管理)機能を実装した観光アプリを導入する。		
具体サービス	<p>①アプリ会員向け機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリ加盟店をはじめとした観光地全体のオススメ情報を閲覧可能</li> <li>・地域のお得情報を入手可能</li> <li>・アプリ加盟店を利用しポイント獲得</li> <li>・たまったポイントはアプリ加盟店で使用可能</li> <li>・教育プログラム等の提案</li> </ul> <p>②運営・加盟店向け機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリに登録する会員情報をもとに、消費情報等を把握可能</li> <li>・個店及び地域の顧客の囲い込みが可能</li> <li>・ポイント機能を活用したキャンペーンの実施</li> <li>・顧客のニーズを把握し、商品、サービスの開発、発信することでリピーター確保につながる</li> </ul>	<p>The diagram illustrates the CRM app ecosystem. At the top left is the '観光客 (アプリ会員)' (Tourist/App Member) represented by a person with a suitcase. At the top right is the '加盟店' (Franchisee) represented by a building icon. At the bottom left is the '運営 (奈良市)' (Operator/Nara City) represented by a person at a computer. At the bottom right is the 'CRMデータベース' (CRM Database) represented by a server rack icon. Arrows indicate the flow of information and data: 'ポイント付与' (Point Issuance) from Franchisee to Tourist; 'ポイント使用' (Point Usage) from Tourist to Franchisee; 'アンケート調査、キャンペーン情報、教育プログラム等' (Survey, Campaign Info, Education Programs, etc.) from Operator to Tourist; 'アンケート回答' (Survey Response) from Tourist to Operator; 'ポイント付与情報' (Point Issuance Info) from Franchisee to CRM Database; 'データの活用' (Data Usage) from CRM Database to Franchisee; '行動データの蓄積' (Accumulation of Action Data) from Operator to CRM Database; and '行動データの活用・分析' (Usage and Analysis of Action Data) from CRM Database to Operator.</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標 (活動指標)】</p> <p>①アプリの登録会員者数を測定する。</p> <p>②キャンペーン情報の発信回数</p>	<p>【アウトカム指標 (成果指標)】</p> <p>①奈良市観光入込客数</p>	

## 事業概要 【非接触型観光案内事業】

実施地域	奈良県奈良市	事業費	17,064千円
実施主体	奈良県奈良市	人口	351,721人
事業概要	<p>定型的な観光案内をデジタル化し、AIにより観光プランを提案できる機能を整備し、有人での対応を複雑な案内業務に限定することにより、観光案内所の混雑緩和、スムーズな観光案内を実現する。また、収集したデータを分析活用し、よりの確な観光案内、地域の事業者等への情報提供で地域活性化につなげる。接客もリモートで対応し、接触によるリスクを低減させる。</p>		
具体サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIコンシェルジュ 利用者の属性嗜好等から最適な観光プラン提案。</li> <li>・オンライン接客 直接人に聞きたい内容、相談に対応しつつ、コロナ禍における非接触案内を実現。有人対応による満足度向上も見込める。</li> <li>・位置情報連動型イラストマップ イラストマップをデジタル化し、位置情報と連動することで、迷わずに散策できる。主要観光地に直行するだけでなく、マップ上の様々なスポットの情報を盛り込むことで、周遊や滞在時間の延長が期待できる。</li> <li>・AIチャットボット（既存システムを活用） よくある質問や簡易な案内に対応。問合せ内容の分析で精度を向上させる。</li> </ul>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①AI観光プラン提案数</li> <li>②オンライン接客利用回数</li> <li>③位置情報連動型イラストマップの閲覧数</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①Net Promoter Score（ネットプロモータースコア）</li> <li>②AI観光プランへの満足度</li> <li>③オンライン接客への満足度</li> <li>④位置情報連動型イラストマップへの満足度</li> </ul>	

## 事業概要 【観光アプリ等マルチチャンネルによる誘客・周遊促進事業】

実施地域	奈良県桜井市全域	事業費	24,800千円
実施主体	奈良県桜井市	人口	55,536人
事業概要	<p>デジタル化の急速な進展や観光客のニーズの多様化など、社会情勢が大きく変化しているため、新たな観光コンテンツの開発やコンテンツを確実に届ける効果的な集客対策を行う必要がある。そこで、コロナ禍における「癒やし」をテーマとした観光コンテンツの充実を図り、観光アプリの制作や事業者へのMEO対策支援を行うことで、デジタルを活用した多層的な情報発信による誘客及び周遊促進を図る。</p>		
具体サービス	<p><b>【観光周遊促進アプリ作成事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①GPSを用いたナビゲーション機能</li> <li>②SNSを通じた事業者による最新情報の表示機能</li> <li>③SNSを通じた観光客等による口コミ情報の表示機能</li> <li>④ポイントラリー機能</li> <li>⑤多言語対応AIチャットボットによる観光案内機能</li> <li>⑥GoogleMAPのAPI連携</li> <li>⑦桜井市観光情報サイトへのリンク</li> <li>⑧桜井市公式外国人向けwebサイトへのリンク</li> <li>⑨万歩計機能</li> </ul> <p><b>【観光周遊促進アプリの魅力向上につながる観光コンテンツ造成事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「癒やす」観光コンテンツ開発支援補助金</li> <li>(2) 「癒やす」観光コンテンツ磨き上げ・情報発信支援委託</li> <li>(3) インバウンド向けWeb環境の整備・充実事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>①Googleビジネスプロフィール登録・活用支援</li> <li>②桜井市公式外国人向けHP「YAMATO」の整備</li> <li>③インバウンド向け周遊滞在型コンテンツの造成</li> </ul> </li> </ul>		
主なKPI	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①観光アプリのダウンロード累計数</li> <li>②観光アプリへの掲載コンテンツ累計数</li> <li>③Googleビジネスプロフィール新規登録者累計数</li> </ul>	<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①桜井市観光消費額</li> <li>②アプリ利用者の満足度</li> <li>③外国人アプリ利用者の満足度</li> </ul>	

## 事業概要 【吉野町シティプロモーション事業】

実施地域	奈良県吉野町	事業費	8,825千円
実施主体	奈良県吉野町、株式会社センキョ	人口	6,280人
事業概要	デジタル上のプラットフォームを用いて、地域外に存在する多種多様な人材のニーズ個々にあったプロモーションを行っていくことで、「オン・オフのまち吉野」等のブランディングを図るとともに、観光やワーケーションなど複数のアプローチから、地域住民との交流及び担い手不足解消へと繋がる施策を促進する。		
具体サービス	<p><b>デジタルプラットフォームの提供・開発</b> →株式会社センキョの所有する公式LINE上でアンケート、プロモーションをすることが可能となるプラットフォームを提供する。</p> <p><b>プロモーションを通じた担い手創出イベント実施事業</b> →上記プラットフォームを利用し、既存の登録ユーザー370万人に向けて、地域イベントのプロモーションを行っていく。また、アンケートによる回答も得られるため、回答状況を踏まえ、よりターゲットを絞った上で、プロモーションを重ねていくことが可能となる。このことにより、効率よく潜在的ファン層への認知を生むことが可能。また、アンケート内容は吉野町に共有され、プロモーション内容等の改善に繋がることが可能。更に、このプロモーションを通じて、アンケート上で、吉野町に関わりたい人を募集し、地域住民との交流機会のきっかけ作りや、例えば地区のイベントの運営スタッフとしての担い手づくり等、関係人口の関わり度合いに応じたイベントの開催を行い、課題解決に参画する関係人口の創出を行うこととする。</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①プラットフォーム内での発信数 ②プロモーションの開封率（CTR） ③プロモーションの反応率（CVR）</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①「担い手創出イベント」参加人数 ②「担い手創出イベント」実施数 ③</p>	



## 事業概要 【有田市観光ポータル構築事業】

実施地域	和歌山県有田市	事業費	51,150千円
実施主体	和歌山県有田市、有田市スマートシティ推進協議会、クロスポイント・コンサルティング株式会社	人口	26,713人
事業概要	<p>当市の観光分野においては、個々の観光コンテンツを目的とした観光客は多いものの、他のコンテンツとの結びつきが弱く、市内の周遊につながっていない。また、2025大阪・関西万博に伴い増加するインバウンドを対象とした情報発信を行う必要がある。そのため、観光客の趣味趣向に即した観光施設・店舗情報やイベント情報をプッシュアップで通知するポータルを構築する。</p>		
具体サービス	<p>観光ポータルの構築          観光者が、個々の属性を登録することで、趣味趣向に即した観光施設・店舗情報やイベント情報をプッシュアップで通知するポータルサイトを構築する。また、行政や市内事業者が個々に情報を発信できるよう、情報発信用インターフェースを市内事業者に公開し、リアルタイムの地域情報を発信する。          ほかに、2025大阪・関西万博に伴うインバウンド客を誘致するため、サイトの多言語対応や、国籍に応じた情報を実現する。</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①観光ポータルへのアクセス数</li> <li>②観光ポータル参加事業者数</li> <li>③属性情報を登録した観光客数</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①観光ポータルサービスの満足度</li> <li>②インバウンドの宿泊客数</li> <li>③</li> </ul>	 <p>会津若松で構築・実績を有する「VISIT AIZU」を参考に、当市に適した観光コンテンツ開発とサイト構築を図り、併せて他コンテンツサイトとの連携やSNS連携を実現し、インバウンド向けの情報発信サイトを構築する。</p>

## 事業概要 【キャンプ場を核としたデジタル周遊事業】

実施地域	和歌山県御坊市	事業費	9,750千円
実施主体	和歌山県御坊市、公益財団法人御坊市ふれあいセンター	人口	23,481人
事業概要	<p>本市の野口オートキャンプ場は本市における自動車の玄関口に位置し、ICや市街地へのアクセスの良さからキャンピングカーの聖地として知られている。本事業では、キャンプ場内に新たにデジタルサイネージを設置することで観光情報や飲食店の多様なデジタル情報を発信するとともに、場内の空きスペースを活用して非接触で気軽に利用できるRVパークを設置することにより、市外→RVパーク→市内の自動車での地域周遊の形を構築することで、地域の稼ぐ力を高める。</p>		
具体サービス	<p>【デジタルサイネージによる地域周遊促進サービス】</p> <p>キャンプ場内にデジタルサイネージを設置することで、利用者に観光施設や飲食店のデジタル情報を発信する。サイネージ上で、各施設のSNS等とリンクさせるなど、情報の量と質を向上させることで施設への誘導を図る。また、災害時を想定してハザードマップなども併せて発信することで、観光客の安全安心の確保を担う。</p> <p>【デジタル周遊拠点（RVパーク）整備・プロモーション】</p> <p>キャンプ場内の空きスペースにテントサイトよりも安価で気軽に利用できるRVパークを設置し、利用者の拡大とデジタル周遊への誘導を図る。RVパークはオンライン予約と電子決済の導入により非接触チェックインとし、利用者へのWEBアンケート結果とサイネージを連携させるなどデジタルを活用することで地域への誘引効果を高める。利用促進に向けたプロモーションでは、動画配信者と協働でのイベント開催や出展を行うことでデジタルによる情報拡散を行う。</p>	 	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①デジタルサイネージの利用者数</p> <p>②RVパークの利用者数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①観光客入込数</p> <p>②デジタルサイネージ・RVパークの利用満足度</p> <p>③キャンプ場利用者数</p>	

## 事業概要 【IoTセンサーを利用した中心市街地の駐車場混雑状況見える化】

実施地域	鳥取県鳥取市	事業費	8,072千円
実施主体	鳥取県鳥取市	人口	183,383人
事業概要	<p>鳥取市では中心市街地活性化基本計画を策定し、広域から様々な人々が中心市街地に集うことで、地域や多世代がつながり、賑わいや活力のある、山陰東部の中核を担う中心市街地を目指した取り組みを行っている。</p> <p>中心市街地のエリアの1つである鳥取城跡周辺地区において、観光交流等による来街者の受け入れ態勢を強化するため、来街者が鳥取城跡周辺地区の駐車場の空き状況をスマートフォン等でリアルタイムに確認できるシステムを構築し、鳥取城跡周辺地区へのアクセスの向上と観光交流の促進を図る。</p>		
具体サービス	<p>鳥取城跡周辺地区の駐車場にカメラを設置して空き状況を計測し、スマートフォン等でリアルタイムに確認できるようにする。</p> <p>【駐車場の空き状況情報発信システム】          &lt;実施予定の駐車場（3か所）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・片原駐車場</li> <li>・わらべ館</li> <li>・民間の駐車場1か所（検討中）</li> </ul>	<p style="text-align: right;">スマホ等で確認</p>  <p>駐車場（カメラで空き状況を検知）</p> <p><small>大規模なシステム導入は不要！ カメラ映像で出来る駐車場満空検知</small></p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①システムの年間アクセス数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①鳥取城跡周辺地区の観光客数</p>	

## 事業概要 【桃太郎のまち岡山観光誘客事業】

実施地域	岡山県岡山市	事業費	40,000千円
実施主体	岡山ビジットアソシエーション（岡山市・岡山商工会議所・（公社）おかやま観光コンベンション協会）	人口	704,487人（R4.1.1時点）
事業概要	<p>XR（VR・AR・MR）やメタバース等のデジタル技術を活用し、リアルとデジタルが融合した周遊プログラムを実施することにより、岡山城をはじめとした旧城下町エリアへの観光客の増加と滞在時間の延長を図る。実施にあたっては、都市イメージとして全国に広く浸透している「桃太郎」を活用することで、岡山市の認知度や好感度の向上を図る。事業を通じて、岡山市の都市ブランドの確立と活力と創造性のある経済・交流都市を目指す。</p> <p>事業実施予定期間：令和5年10月から継続的に実施</p>		
具体サービス	<p><b>【デジタル技術を活用した周遊プログラム】</b>          桃太郎のまちをテーマに岡山城を中心とした旧城下町エリアに係るXRコンテンツ等を作成し、同エリアを周遊するリアルとデジタルが融合したプログラムを実施。</p> <p>既存の観光資源のリアルならではの魅力とデジタルを活用した新たな体験を融合させることにより、観光価値を向上させ、新たな観光客の獲得と観光客の滞在時間の延長を図る。</p>		
主なKPI	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <p>①周遊プログラム参加者数          ②特設Webサイトの閲覧数</p>	<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <p>①岡山城入館者数          ②市内延べ宿泊者数          ③地域ブランド調査 認知度ランキング 順位          ④地域ブランド調査 魅力度ランキング 順位</p>	




## 事業概要 【デジタル観光パスポート導入事業】

実施地域	岡山県倉敷市	事業費	40,012千円
実施主体	岡山県倉敷市	人口	478,234人
事業概要	<p>倉敷の「今」・「有益」な情報を提供することで、多くの観光客が訪れるとともに、観光客の利便性の向上と満足度を高めることにより、宿泊を含む滞在時間の増加に繋げ、繰り返し訪れてもらうための情報発信ツールとしてSNS（LINE）等を利用したデジタル観光パスポートの導入を行う。</p>		
具体サービス	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【デジタル観光パスポート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旬な情報、モデルコースなど</li> <li>観光デジタルマップ</li> <li>観光地及び駐車場混雑情報</li> <li>SNS情報（インスタグラム等への接続）</li> <li>お土産・クーポン</li> <li>ふるさと納税・地域EC</li> <li>宿泊・体験予約機能</li> <li>季節別観光情報</li> <li>アクセスランキング表示</li> </ul> </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid gray; padding: 10px;"> <p>【デジタル観光パスポート】</p> </div> </div>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①デジタル観光パスポートの登録者累計数</li> <li>②デジタル観光パスポートの観光地図のアクセス数</li> <li>③デジタル観光パスポートのクーポン利用回数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①デジタル観光パスポートの利用評価</li> <li>②市内主要観光地観光客数</li> <li>③観光消費額</li> </ol>	



## 事業概要 【AIカメラを活用したまちの活性化・安全推進事業】

実施地域	広島県三原市	事業費	11,000千円
実施主体	広島県三原市、株式会社まちづくり三原他	人口	89,232人
事業概要	<p>・市の活性化をめざし、イベントや事業を企画しまちを盛り上げようとする市内団体の動きが見られるが、情報が不足しそのターゲットや効果を十分に把握・検証できていない。</p> <p>・「固定型・移動型のAIカメラの設置」と「イベント情報等の各種データの活用」により人流を解析しイベント・事業の効果を検証し、中心市街地活性化や地域振興につなげる。</p>		
具体サービス	<p>【AIカメラ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市中心部に固定型のAIカメラ 9台を設置し、人流を計測する。</li> <li>・ AIカメラの一部は、警察・地域と協議が整い次第、地域の防犯カメラとして運用する。</li> <li>・ 移動型のAIカメラ 4台を導入しイベント主催者に貸出。イベント開催時の人流を計測する。</li> </ul> <p>【データ分析・活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ AIカメラにより計測した人流データとイベント情報を重ね合わせてイベント等の効果を検証する。 ※イベント情報はデジタル田園都市国家構想推進交付金（令和3年度補正予算措置分）でAIで情報を集約するサイトを構築済</li> <li>・ 収集したデータはオープンデータとしての公開等に活用する。</li> </ul>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①AIカメラの設置台数</li> <li>②人流データ活用場所でのイベント実施回数</li> <li>③移動型AIカメラの利用回数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①人流データ活用イベントの次回集客の平均増減率</li> <li>②移動式AIカメラの利用者の満足度</li> <li>③人流データ活用イベント主催者の満足度</li> </ol>	

# 事業概要 【観光デジタルナビ多言語強化事業】


実施地域	山口県下関市	事業費	6,600千円
実施主体	山口県下関市	人口	250,988人
事業概要	<p>インバウンドが本格的に復活する中で、本市は、「旅マエ」「旅ナカ」における外国人観光客の受入環境整備が不足しているという課題がある。日本語で検索しなければ、ホームページに辿り着けず、観光スポットの情報を入手できない。また、本市を訪れても、多言語観光案内が不足しているため、観光地において情報を入手できない。そこで、ホームページの改修及び観光案内システム構築を通じて、「旅マエ」「旅ナカ」における多言語の受入環境の強化を図る。</p>		
具体サービス	<p>【① 多言語ホームページ改修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツ改修 トップページ(スマホ画面含む)制作 独立ページ制作 (英語／韓国語／中国語(簡・繁))</li> </ul> <p>【② 多言語観光案内システム構築事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多言語観光案内動画制作</li> <li>動画サイトに動画をアップロード</li> <li>QRコードから動画に直接アクセス (アプリダウンロード率が悪い為)</li> </ul>	<p>【① 多言語ホームページ改修事業】</p> <p>WHY?</p>  <p>検索できない！ 読めない！</p> <p>海外SEO対策</p> <p>行きたい！</p> <p>【② 多言語観光案内システム構築事業】</p>  <p>案内</p> <p>多言語観光案内の不足</p> <p>多言語観光案内動画の作製</p> <p>オンデマンド 多言語観光案内動画</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①年間閲覧者数(PV)</li> <li>②作成動画数(本)</li> <li>②動画閲覧数(回数)</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①②外国人宿泊客数(人)、高評価率(率)</li> </ul>	

## 事業概要 【AR・VR導入業務】

実施地域	山口県周防大島町	事業費	4,950千円
実施主体	山口県周防大島町	人口	14,378人
事業概要	周防大島町の観光地やイベントの様子をARやVRの技術を用いてリアルな体験を可能とすることで、周防大島町の観光客の集客や地域の活性化を図る。		
具体サービス	<p>【XR City】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォンやタブレット端末で観光地のイベント体験ができるアプリケーション。</li> <li>観光地やイベントが行われる場所の看板やオブジェをスポットとし、スポットにスマートフォンをかざすことで観光地の季節ごとの風景やイベントの様子を体験できる。</li> <li>「XR City」のカメラ機能で撮影も可能。</li> </ul>	<p>現地の指定場所でアプリを起動し再生</p> 	<p>スマートフォンやタブレットを通じて、VRでイベント時の雰囲気を体験可能</p>  <p>アプリ起動後、スマホをどこに向けても360度見渡しが可能</p>
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①周防大島町のXRコンテンツ展開数</li> <li>②周防大島町のXRコンテンツへのアクセス数</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①周防大島町の年間観光交流人口</li> <li>②コンテンツ利用者に対するアンケート実施</li> <li>③</li> </ol>	



## 事業概要 【デジタルサイネージによる八女市の魅力発信】

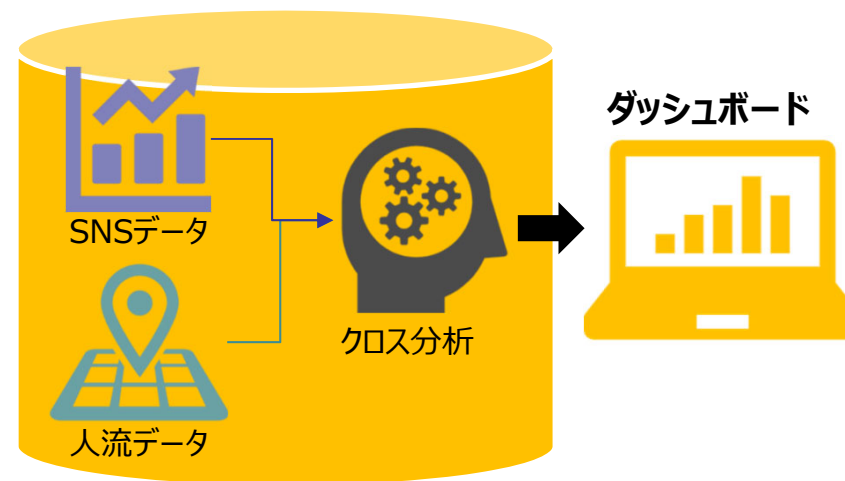
実施地域	福岡県八女市	事業費	5,130千円
実施主体	福岡県八女市	人口	60,834人
事業概要	<p>新庁舎オープンを機に市政情報発信ツールとしてタッチパネル式のデジタルサイネージを設置し、市の魅力や有用な情報を発信していきたい。本市には、豊かな自然や歴史・文化、農産物、伝統工芸など、様々な魅力があり、また、各地域には多彩な地域資源を活かした観光交流拠点がある。市の魅力を効果的に発信することで観光拠点の来場者を増やし市民の関心度を高める。</p>		
具体サービス	<p>デジタルサイネージの導入により、動画や静止画などさまざまな種類のコンテンツを同時に表示できるため、来庁者に八女市の魅力が一度に伝わる。また、ディスプレイをタッチしてコンテンツの詳細を閲覧したり、良いと思ったコンテンツに投票したりすることが可能で、閲覧された回数や人気度などの利用状況によってコンテンツの配置や大きさが入れ替わる仕組みがあるため、リアルタイムで市内の注目されている情報を発信することができる。更にSNS※との連携も可能であり最新投稿を自動的に取り込み表示をすることが可能。 ※Facebook・Twitter等</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタルサイネージでの情報発信回数</li> <li>②デジタルサイネージタッチデータ</li> <li>③</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタルサイネージ認知度</li> <li>②各施設の来場者数の増加</li> <li>③デジタルサイネージ利用者の満足度</li> </ul>	   

# 事業概要 【人流データを活用した武雄市観光等の新たな価値創造事業】

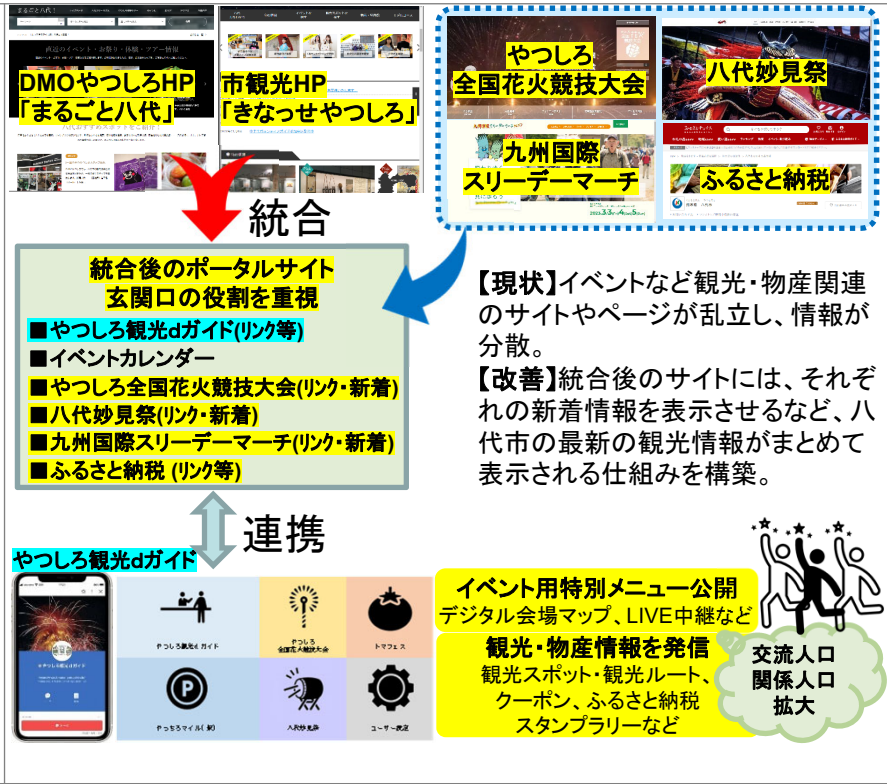
実施地域	佐賀県武雄市	事業費	53,433千円
実施主体	佐賀県武雄市	人口	48,151人
事業概要	<p>新型コロナウイルス感染症や西九州新幹線の開業、インバウンドの動向など、交流人口が増減する不確定要素が多いことから、観光地等における人流データを把握して混雑状況を可視化するとともに、デジタルサイネージ等により、観光者等へリアルタイムに観光地等の混雑状況やイベント情報、災害情報等を提供し、滞在時間に満足度の高い観光体験の提供と安全安心で快適に過ごしていただく仕組みを構築する。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【人流データを活用した観光情報等提供サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カメラ等による混雑情報等の人流の把握</li> <li>デジタルサイネージ等からの情報提供</li> </ul> <p>【3次元デジタルデータによる防災情報提供サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象エリアの浸水シミュレーション、避難シミュレーション解析</li> <li>3次元デジタルデータに表現</li> </ul>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①サイネージからのスマートフォンQRコード読み込み数</li> <li>②情報コンテンツ（デジタルサイネージ、webサイト）の作成数</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①観光客の誘導動線の変化</li> <li>②分散観光・混雑予報情報サービスの満足度調査</li> <li>③</li> </ol>	

## 事業概要 【観光予測情報提供サービス】

実施地域	長崎県佐世保市	事業費	4,015千円
実施主体	長崎県佐世保市	人口	236,784人
事業概要	<p>観光に関連するデータ（人流データ、SNSデータ）を収集・分析したものをダッシュボード化し、観光事業者の需要予測、適時・効果的なプロモーションの実践に資する経営資源情報として活用できるようにする。 また、将来的にはそのデータを活用し市内観光コンテンツに関し観光客の志向性に合わせた情報提供を可能とする観光資源のレイヤー設定(複数の訴求性設定)の構築を目指していく</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【観光予測情報提供サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人流データ、SNSデータを組み合わせたダッシュボードを主に観光事業者の利用を想定して公開する(オープン化)。</li> <li>(公財)佐世保観光コンベンション協会公式ホームページにて情報公開用ページを作成、主に市内事業者に対し、利用啓発を並行して実施</li> <li>導入にあたっては、事業者向けへの利活用啓発セミナーの開催を行い、利用促進を図る</li> </ul>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ダッシュボード公開件数</li> <li>②ダッシュボード閲覧件数等</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①データ活用による事業計画立案数</li> <li>②利用者の活用満足度</li> </ol>	



# 事業概要 【観光プロモーション充実・強化及びデータマーケティング利活用事業】
















実施地域	熊本県八代市	事業費	22,402千円
実施主体	熊本県八代市	人口	123,982人
事業概要	<p>現在、本市とDMOやつしろで各々が運営する観光情報サイトを統合し、情報の集約を図るとともに、令和4年度に実証実験として運用したLINE公式アカウント「やつしろ観光 d ガイド」との連携及び機能拡充（運営者の管理アプリ開発・導入、スタンプラリー機能の開発・実装等）により、広く観光客に対して情報発信を行えるよう仕組みを確立すると共に、収集されるデータに基づく効果検証を実施、観光客の周遊促進・消費促進・関係人口化を目指す。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【観光サイト統合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本市とDMOやつしろのサイトを統合</li> <li>● 統合後のサイトはポータル（玄関口）の役割に特化</li> <li>● 「やつしろ全国花火競技大会」や「八代妙見祭」など、イベント毎に立ち上げられたサイトともシームレスに連携する。</li> </ul> <p>【やつしろ観光 d ガイド】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● LINEの公式アカウントとして、登録者を拡大。</li> <li>● 「やつしろ全国花火競技大会」や「八代妙見祭」など、市外から集客が見込めるイベントをフックとし、登録者を拡大し、通年の観光・物産振興につなげる。</li> <li>● 市担当者が簡単にコンテンツを追加、変更できるよう管理者用アプリを導入。</li> <li>● 本格運用に当たり、登録者が見やすく、分かりやすいように、デザイン性の高いトップページへとリニューアルを実施。</li> <li>● イベント参加者に紙で配布していたスタンプラリーシートの代わりに、イベント毎に転用可能なデジタルスタンプラリー機能を開発、実装。</li> <li>● 登録者の行動履歴をもとに、本市との関係深度をランク付けし、ランクに応じたインセンティブを提供する仕組みの構築。</li> </ul>	 <p><b>統合</b></p> <p>統合後のポータルサイト 玄関口の役割を重視</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ やつしろ観光dガイド(リンク等)</li> <li>■ イベントカレンダー</li> <li>■ やつしろ全国花火競技大会(リンク・新着)</li> <li>■ 八代妙見祭(リンク・新着)</li> <li>■ 九州国際スリーデーマーチ(リンク・新着)</li> <li>■ ふるさと納税(リンク等)</li> </ul> <p><b>連携</b></p> <p>やつしろ観光dガイド</p> <p>イベント用特別メニュー公開 デジタル会場マップ、LIVE中継など</p> <p>観光・物産情報を発信 観光スポット・観光ルート、クーポン、ふるさと納税スタンプラリーなど</p> <p>交流人口 関係人口 拡大</p>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ポータルサイトアクセス数</li> <li>②「やつしろ観光 d ガイド」登録者数</li> <li>③掲載したコンテンツへのユーザーアクセス率</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①観光入込客数</li> <li>②ポータルサイト及びやつしろ観光 d ガイドの利用満足度</li> <li>③ふるさと納税による寄附額</li> </ol>	



## 事業概要 【御船町観光デジタル化事業】

実施地域	熊本県御船町	事業費	14,450千円
実施主体	熊本県御船町	人口	17,049人（R4.12月末）
事業概要	<p>観光ガイドが持つ観光や歴史に関する知識を、音声付き動画としてデジタル化する。デジタル化により、観光ガイドの高齢化などによるガイド不足の解消や、ガイドが持つ知識をデジタルによって継承する。また、VR動画により、御船町の観光資源を事前に体験してもらい、実際に御船町への訪れる仕組みを構築する。さらに、観光マップアプリにより、町内観光地の回遊ルート検索など観光しやすい環境を整備し、観光客の更なる増加を図る。</p>		
具体サービス	<p>【観光資源・歴史・震災遺構の動画紹介サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光スポット等の魅力動画やVR動画を用いた震災遺構紹介や草スキー体験</li> </ul> <p>【観光マップシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アプリによる観光地案内</li> </ul>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>観光地紹介動画作成数</li> <li>観光地スポット登録数</li> <li>観光アプリを活用した関連イベントの開催</li> <li>観光アプリ閲覧数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>観光入込客数</li> <li>イベント参加者数</li> <li></li> </ol>	

## 事業概要 【新湯治・ウェルネスツーリズム事業】

実施地域	大分県別府市	事業費	60,000千円								
実施主体	一般社団法人別府市産業連携・協働プラットフォーム B-biz LINK	人口	113,792人（令和5.11.30時点）								
事業概要	<p>観光の柱として、「新湯治・ウェルネスツーリズム事業」を推進し“湯治×産業”で地域一体となり、「ウェルネスツーリズム＝別府」というブランディングの確立を目指す事業。</p> <p>泉質の科学的根拠と日本最大の源泉数を掛け合わせ、“パーソナライズされた新たな旅行プランの造成”を指針とし、事業の推進を図る。</p>										
具体サービス	<p><b>【新湯治ウェルネスツーリズム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「新湯治・ウェルネスツーリズム」は、別府温泉入浴前後に取得する健康データを元にした<b>“パーソナライズされた新たな湯治プラン”を提供するサービス</b>である。</li> <li>別府市内の温泉施設・宿泊施設や、飲食店・リラクゼーション等を含む<b>別府市内の観光施設の情報をデータ連携し、新たなツーリズムを造成。</b></li> <li>利用者は、ウェアラブルデバイス等で入浴前後の健康状態を測定し、湯治の健康効果を気軽に実感できる他、日本最大の源泉数を誇る温泉に代表される地域資源の中から、自らの健康状態に合った湯治プランを選択可能。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>取得データを基に、個人最適化された “新湯治ウェルネスツーリズム”によるプランを提案</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取得データ</th> <th>提供サービス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p> <b>入浴前後の健康データ取得</b> ウェアラブルデバイス、体組成計、スマホアプリなどで簡易的に計測</p> </td> <td> <p><b>湯治の健康効果を採点・分析レポート化</b> </p> </td> </tr> <tr> <td> <p> <b>施設情報をデータ化して集約</b> 施設ごとの特徴や提供メニュー、温泉の泉質等の情報をデータ化</p> </td> <td> <p><b>パーソナライズされた湯治プランの提案</b> </p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <p><b>市民ポイント等の付与・地域内消費の促進</b> </p> </td> </tr> </tbody> </table>		取得データ	提供サービス	<p> <b>入浴前後の健康データ取得</b> ウェアラブルデバイス、体組成計、スマホアプリなどで簡易的に計測</p>	<p><b>湯治の健康効果を採点・分析レポート化</b> </p>	<p> <b>施設情報をデータ化して集約</b> 施設ごとの特徴や提供メニュー、温泉の泉質等の情報をデータ化</p>	<p><b>パーソナライズされた湯治プランの提案</b> </p>		<p><b>市民ポイント等の付与・地域内消費の促進</b> </p>
取得データ	提供サービス										
<p> <b>入浴前後の健康データ取得</b> ウェアラブルデバイス、体組成計、スマホアプリなどで簡易的に計測</p>	<p><b>湯治の健康効果を採点・分析レポート化</b> </p>										
<p> <b>施設情報をデータ化して集約</b> 施設ごとの特徴や提供メニュー、温泉の泉質等の情報をデータ化</p>	<p><b>パーソナライズされた湯治プランの提案</b> </p>										
	<p><b>市民ポイント等の付与・地域内消費の促進</b> </p>										
主なKPI	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①パーソナライズプランの利用回数（市民・観光客）</li> <li>②ポHUNTの利用者数</li> </ol>	<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①新湯治ウェルネスツーリズムの観光事業者・市民の理解度</li> <li>②新湯治ウェルネスツーリズムの利用満足度（NPS）</li> <li>③新湯治ウェルネスツーリズム利用者一人当たりの平均消費単価</li> </ol>									

## 事業概要 【宮崎の自然魅力発信事業】

実施地域	宮崎県宮崎市	事業費	9,000千円
実施主体	宮崎県宮崎市	人口	399,694人 (R4.12.1)
事業概要	<p>登山者が「山×温泉」「山×食」など地域を回遊する仕組みを構築するとともに、効果的かつ確実に登山者に届くWEB媒体等を活用したプロモーションを行う。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>「デジタルスタンプラリー」 山と任意の場所をポイントに設定して回遊するとアプリ内でデジタルバッジが取得でき、一定数を取得したユーザーに特典を付与する仕組み。 ※デザインはご当地ならではの要素を盛り込み、バッジを集める文化のある登山者との親和性を重視する 上記キャンペーンを登山アプリユーザーに周知するため、登山アプリのオウンドメディアにて記事化し配信を行う。 更に、山自体や周辺スポットの魅力を深掘りする記事を追加することで、より立体的に対象の山域の魅力を発信し、キャンペーンをきっかけとした現地訪問ユーザー数の増加を図る。 また、SNSの登山アプリ公式アカウントを活用してシェアすることで、より広く拡散させる。</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 登山地図ダウンロード数</li> <li>② 登山等記録投稿数</li> <li>③ デジタルバッジ発行数</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① キャンペーン参加者の満足度</li> </ul>	<p>参考</p>  <p>▲ 登頂後に届くデジタルバッジの通知</p> <p>▲ マイページで獲得状況を確認</p>

# 事業概要 【宿泊予約サイトと体験型旅行商品予約サイトとの連携事業】



実施地域	宮崎県高千穂町	事業費	4,510千円
実施主体	宮崎県高千穂町、高千穂町旅館業組合等	人口	11,328人
事業概要	<p>現在、高千穂町旅館業組合に加盟する旅館・ホテル等の予約サイトでの在庫を管理するサイトコントローラーの統一化を進めている。その連携を使って高千穂町旅館業組合の予約サイトを開発している。その旅館業組合の予約サイトに高千穂町観光協会が取り扱っている体験型旅行商品の予約サイトを接続させる。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【宿泊予約サイトと体験型旅行商品予約サイトとの連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高千穂町旅館業組合の宿泊の予約サイト内で体験型旅行商品の予約ができるようにする。</li> </ul>	<div data-bbox="1193 632 2040 1219"> <p><b>概要（実現内容）</b></p> <p>高千穂の体験型旅行予約システム連携し、組合サイト上で宿泊と貸しポート/夜神楽/あまてらす鉄道をセットで予約できるようにする。</p> <p>Copyright © 2022 BILKANY INNOVATION SYSTEMS CO., LTD All Rights Reserved.</p> </div>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①宿泊予約者累計数</li> <li>②体験型旅行商品予約累計数</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①高千穂町の年間宿泊者数</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>	



# 事業概要 【A I コンシェルジュ等を活用した観光サイト構築事業】

実施地域	鹿児島県出水市	事業費	13,464千円
実施主体	鹿児島県出水市	人口	52,192人
事業概要	新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の中で、旅行客の行動も団体旅行から個人旅行へと変化してきており、画一的な観光情報の提供だけではなく、個別のニーズに対応できる情報提供ができる仕組みとして、AI技術等を活用した新たな観光情報サイトを構築する。		
具体サービス	<p>【セルフモデルルート作成サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 利用者が嗜好や滞在時間等から独自のモデルルートを作成できるサービス</li> <li>• 利用者が選択したお気に入りの観光地等からモデルルートを作成できるサービス</li> </ul> <p>【B to Cサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 宿泊予約が当サイト内で予約から決済までできるサービス</li> <li>• 地場産品の購入が商品情報の提供と同時にできるサービス</li> </ul>	<p><b>A Iによるセルフモデルルートの作成×宿泊予約</b></p> <p><b>特産品やサービスのPR×購入サイトへの誘導</b></p>	
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 サイト閲覧数	【アウトカム指標（成果指標）】 宿泊客数の増加	

## 事業概要 【奄美大島エコトラック受入環境整備事業】

実施地域	鹿児島県奄美大島	事業費	6,000千円
実施主体	奄美大島チャレンジスポーツ実行委員会	人口	58,000人
事業概要	奄美大島は世界自然遺産登録により、国内外の旅行者が大幅に増加すると見込まれている。今後そのような状況を見据え旅行者に安心して快適な旅をサポートするためにも、アプリ開発やルートマップ等を作成しそれをベースとしてルート情報や観光体験等の情報、地域の魅力を発信し受入体制を整備する。		
具体サービス	<p>【ジャパンエコトラックウェブサイト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各地域のルートや地域資源の魅力発信</li> <li>旅行者が、ルートを携帯のアプリやGPSとの連動</li> <li>多言語で対応（英語）</li> </ul> <p>【ジャパンエコトラックアプリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ルート検索機能</li> <li>GPS地図機能</li> <li>地域の観光体験等の検索機能</li> </ul> <p>【拠点の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジャパンエコトラック協力店看板設置</li> <li>既存の看板や店舗に協力店ステッカー、QRコード張付</li> <li>検索機能</li> </ul>	 	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ウェブ閲覧者数</li> <li>②アプリダウンロード者数</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ジャパンエコトラック顧客満足同調査</li> <li>②観光消費額</li> <li>③宿泊数</li> </ol>	

## 事業概要 【観光情報デジタル化推進事業】

実施地域	沖縄県	事業費	40,000千円
実施主体	沖縄県	人口	1,485,670人(R4.1.1現在)
事業概要	<p>沖縄県では観光客の増加に伴う混雑等が課題となっているほか、紙やネット上で多量の観光情報が散在しており、観光地の魅力や必要な観光情報が十分に観光客に届いていない可能性があることから、観光地等の混雑状況を観光快適度マップとして見える化するのと同時に、各地域の観光ガイドマップ等の集約・カタログ化と併せて、ストーリーマップを整備することにより、快適な沖縄観光や観光客の満足度・利便性向上を図る。</p>		
具体サービス	<p>【観光地等の混雑状況の見える化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人流データ等を活用した地域の混雑状況の見える化（観光快適度マップ）</li> <li>イベントや伝統行事等に関する情報をカレンダー形式で整理（先読みカレンダー）</li> </ul> <p>【観光ガイドマップ等の集約・ストーリーマップの整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光ガイドマップ等の集約カタログ化</li> <li>ストーリーマップの整備</li> </ul> <p>【観光統計データの見える化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光統計データの可視化</li> </ul>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①WebサイトのPV数（サービス毎）</li> <li>②WebサイトのUU数（サービス毎）</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①混雑回避に関する施策の達成度</li> <li>②沖縄旅行の決め手となった情報源</li> <li>③観光統計データを活用したサービス提供等件数</li> <li>④Webサイト利用者の満足度</li> </ol>	

# 事業概要【観光ポータルサイト「コザウェブ」を起点とした地域回遊促進&旅ナカ可視化事業】

実施地域	沖縄県沖縄市	事業費	38,391千円
実施主体	沖縄県沖縄市、沖縄市観光物産振興協会	人口	142,684人
事業概要	<p>沖縄市に訪れる観光客の7割が市外に宿泊し、素通り観光となっている。本事業では、本市から観光物産振興協会への事業補助を行い、観光ポータルサイト「コザウェブ」を起点とした旅ナカ商品の販売システム構築と全国型観光MaaSアプリや顧客予約管理システムを活用し、情報発信・販売・回遊を促進する。また、各システムから検索・予約・決済、移動等のログを収集し、来訪者の旅マエ～旅ナカの行動を可視化し地域資源の磨き上げへの示唆を継続的に取得できる仕組みを運営体制を含め構築する</p>		
具体サービス	<p>■ 観光DX</p> <p>【観光MaaSアプリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乗り換え案内</li> </ul> <p>【旅ナカ商品販売システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旅行中の観光客に対して商品販売を行うシステム</li> </ul> <p>【ログ収集・分析機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集及び情報分析が可能なシステム</li> </ul> <p>【顧客予約管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラウド型 ホテル・旅館向け基幹業務システム</li> <li>データ連携機能</li> <li>非接触チェックイン・システム</li> </ul>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>観光ポータルサイト「コザウェブ」への流入数</li> <li>旅ナカ商品（入場チケット・体験アクティビティ等）の販売システム商品登録数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>観光客一人当たりの消費額</li> <li>市内滞在中の観光客満足度</li> </ol>	